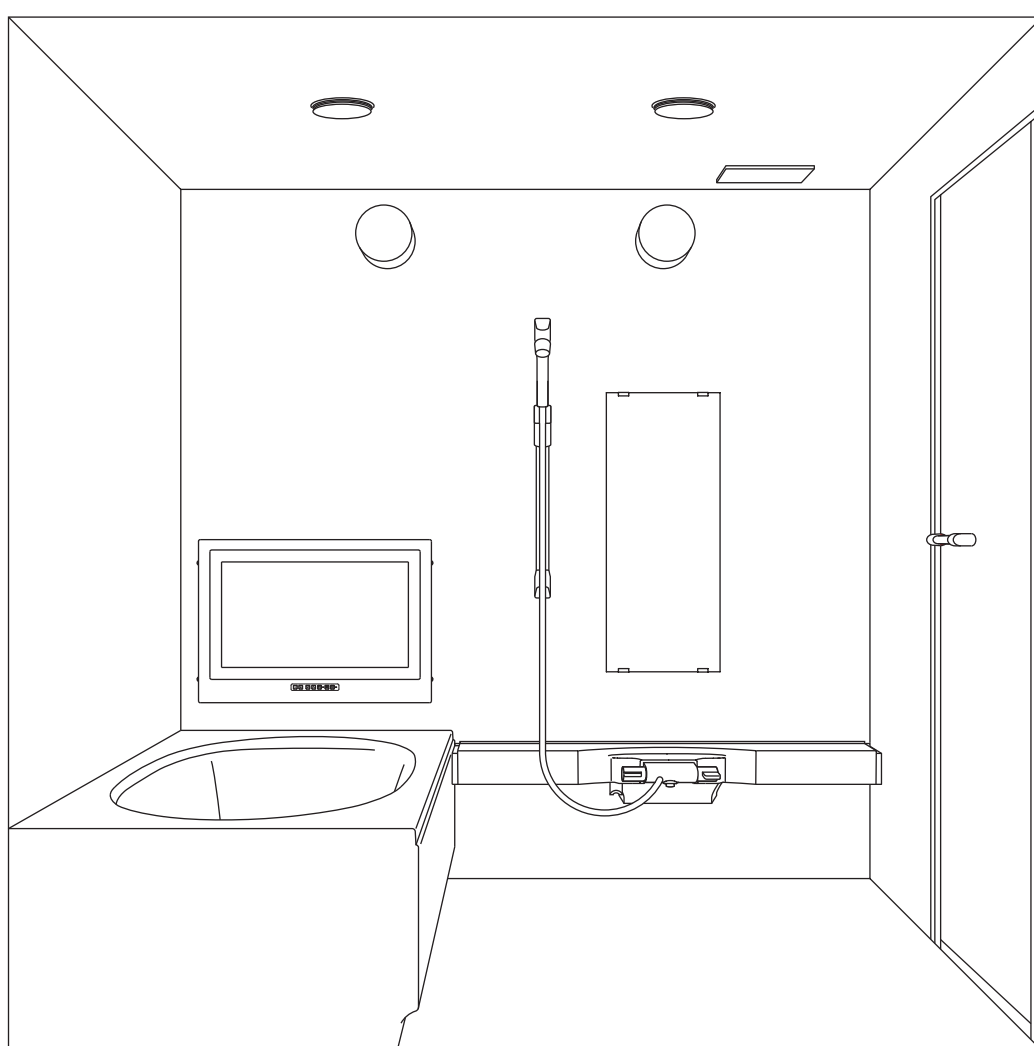


浴室液晶テレビ設置施工マニュアル

壁掛タイプ	SBT-26N1WH / 32N1WH
埋込タイプ	SBT-26N1WH-in / 32N1WH-in



もくじ

作業安全上のご注意	3	主な仕様	32
設置施工に必要なもの	4	共通部品寸法図	
本体及び付属品	5	■接続BOX/ACアダプター寸法図	33
浴室液晶テレビ取付イメージ	6	■防水スピーカー寸法図	34
		■各ケーブル/コネクタ寸法図	35
施工手順	7	各製品寸法図	
■テレビアンテナの一次側配線について	8	26インチ	
■本体取付位置の確認	9	■壁掛タイプ (SBT-26N1WH)	
■スピーカー取付位置の確認	10	壁掛ステー/寸法図	36
■接続BOX/ACアダプターの設置位置の確認	11	■埋込タイプ (SBT-26N1WH-in)	
■施工手順の確認	12	埋込ステー/寸法図	37
■本体取付面の開口 (壁掛タイプ)	13	■壁掛ステー開口指示図 (SBT-26N1WH)	38
■壁面ステーの取付 (壁掛タイプ)	14	■埋込ステー開口指示図 (SBT-26N1WH-in)	39
■本体取付面の開口 (埋込タイプ)	15		
■埋込枠の取付 (埋込タイプ)	16	32インチ	
■スピーカーの開口/配線	17	■壁掛タイプ (SBT-32N1WH)	
■各中継ケーブルの通線	18	壁面ステー/寸法図	40
■ケーブル通線口止水処理	19	■埋込タイプ (SBT-32N1WH-in)	
■コネクタの接続 1	20	埋込ステー/寸法図	41
■コネクタの接続 2	21	■壁掛ステー開口指示図 (SBT-32N1WH)	42
■本体の取付	22	■埋込ステー開口指示図 (SBT-32N1WH-in)	43
■接続BOXの配線 1	23		
■接続BOXの配線 2	24	改訂履歴	44
■接続BOXの配線 3	25		
■一次側テレビアンテナとの接続	26		
■アース接続/AC100V供給	27		
■一次通電テスト	28		
■スピーカーの取付	29		
■本体止水処理	30		
■外部機器の接続	31		

作業安全上のご注意

必ずお守り下さい

作業時の事故防止と、作業後の製品の安全確保のために、色々な表示をしています。
その表示と意味は以下のようになっています。

表示	意味
 警告	この表示の警告事項を無視して本製品の取扱及び施工を行うと、人命身体にかかわる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。 弊社ではこのことに起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。
 注意	この表示の注意事項を無視して本製品の取扱及び施工を行うと、本製品が破損又は誤動作する可能性があります。 弊社ではこのことに起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

	一般的な禁止
	必ず行う
	分解禁止
	アースを接続せよ
	コンセントを抜く
	注意喚起

警告

	浴室液晶テレビ本体及びACアダプター等は精密構造となっております。 慎重にお取扱下さい。
	施工前には、必ず作業場所の安全確保を行って下さい。 浴室内に水滴などが付着している場合は、乾いた布などで拭取ってから作業を開始して下さい。
	施工時は、浴室の壁面/浴槽などに傷を付けないよう、作業場所の保護をしてから行って下さい。
	本製品はAC100V専用です。他の電源は使用しないで下さい。 発火などによる機器破損の恐れがあります。
	施工上いかなる理由があっても、製品及びシステムケーブルの分解改造は行わないで下さい。 誤動作/故障の原因となり、保証修理の対象外となります。
	施工時は、必ず接地工事を行って下さい。 漏電/感電の恐れがあります。
	電気工事は、電気工事業者に依頼して下さい。 感電の恐れがあります。

作業安全上のご注意

必ずお守り下さい



注意

	本体、ACアダプターなどに異常が見られた時は、速やかに電源コンセントを抜いて下さい。
	本製品開梱時には、本体の傷/ガラスの破損などを確認して下さい。 傷や破損があった場合は、速やかに販売店までご連絡下さい。
	本製品開梱時に、本体及び付属品の内容を確認して下さい。 万が一、欠品があった場合は速やかに販売店までご連絡下さい。
	浴室液晶テレビ本体を取り付ける際、必要に応じて壁裏補強を行って下さい。
	スチームサウナなど、高温(50℃以上)になる場合には取り付けできません。 また、浴室暖房などを併設している場合、温風が直接当たらない場所に設置して下さい。

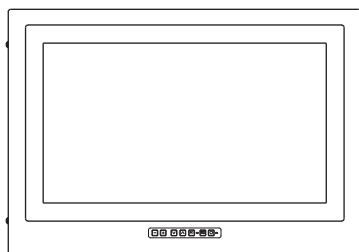
設置施工に必要なもの

一般工具	ドライバー/ペンチ/ニッパー/圧着ペンチ/充電ドリルドライバーなど
一般材料	ビニールテープ/結束バンド/圧着端子など
配線材料	同軸ケーブル(S-5C-FB)/電線(VVF1.6×2C)など
振動ドリル/コンクリートドリル	本体取付用/壁面下穴及び開口用
コンクリートコア	配線内容により壁面貫通が必要な場合
ワイヤーストリッパー	電線加工時使用(Φ0.18~Φ1.25)
水平器	本体取付時の水平測定用
テレビ共聴分配器/分岐器	テレビ本体供給用に分配及び分岐が必要な場合
コーキング材/コーキングガン	止水処理にて使用
マスキングテープ	止水処理及び壁面外周保護用
その他	通線道具/脚立/養生シート/コードリール/作業灯/金尺など

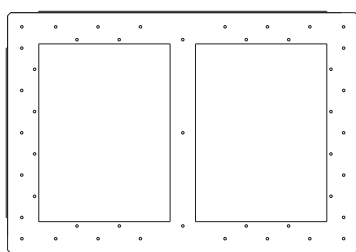
本体及び付属品

型式により、一部形状が異なる場合があります。

■壁掛タイプ



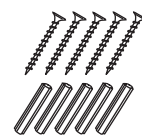
●浴室液晶テレビ本体(1台)



●壁面ステー(1台)

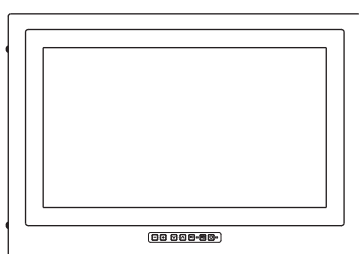


●本体固定用ねじ(5本)
化粧ワッシャ(5個)

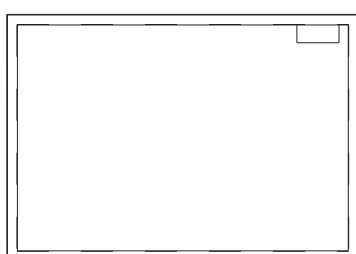


●壁面ステー固定用
ねじ・カールプラグ(各5本)

■埋込タイプ



●浴室液晶テレビ本体(1台)



●埋込枠(1台)

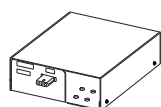


●本体固定用ねじ(5本)
化粧ワッシャ(5個)

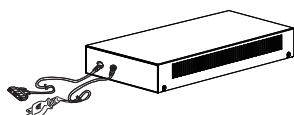


●埋込枠固定用
ねじ(11本)

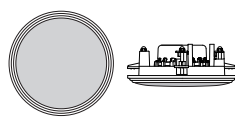
■共通品



●接続BOX
(1台)



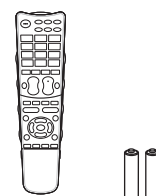
●ACアダプター
(1台)



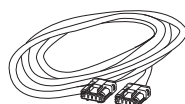
●防水スピーカー
(OE-180WR II × 2個)



●スピーカーケーブル
(赤黒5m × 2個)



●設定用リモコン(1個)
単3型乾電池(2個)



●中継ケーブルA
〔システムケーブル10芯〕
(7m × 1本)



●中継ケーブルB
〔同軸ケーブルS-4C-FB〕
(7m × 1本)



●中継ケーブルC
〔アース緑ケーブル〕
(8m × 1本)



●中継ケーブルD
〔HDMIケーブル〕
(10m × 1本)



●HDMI中継
(1個)



●同軸用接栓
中継接栓
(各2個)



●止水処理用パテ
(1個)



●エフコテープ(2号)
(1個)



●結束バンド
(3本)



●マウントベース
(1個)

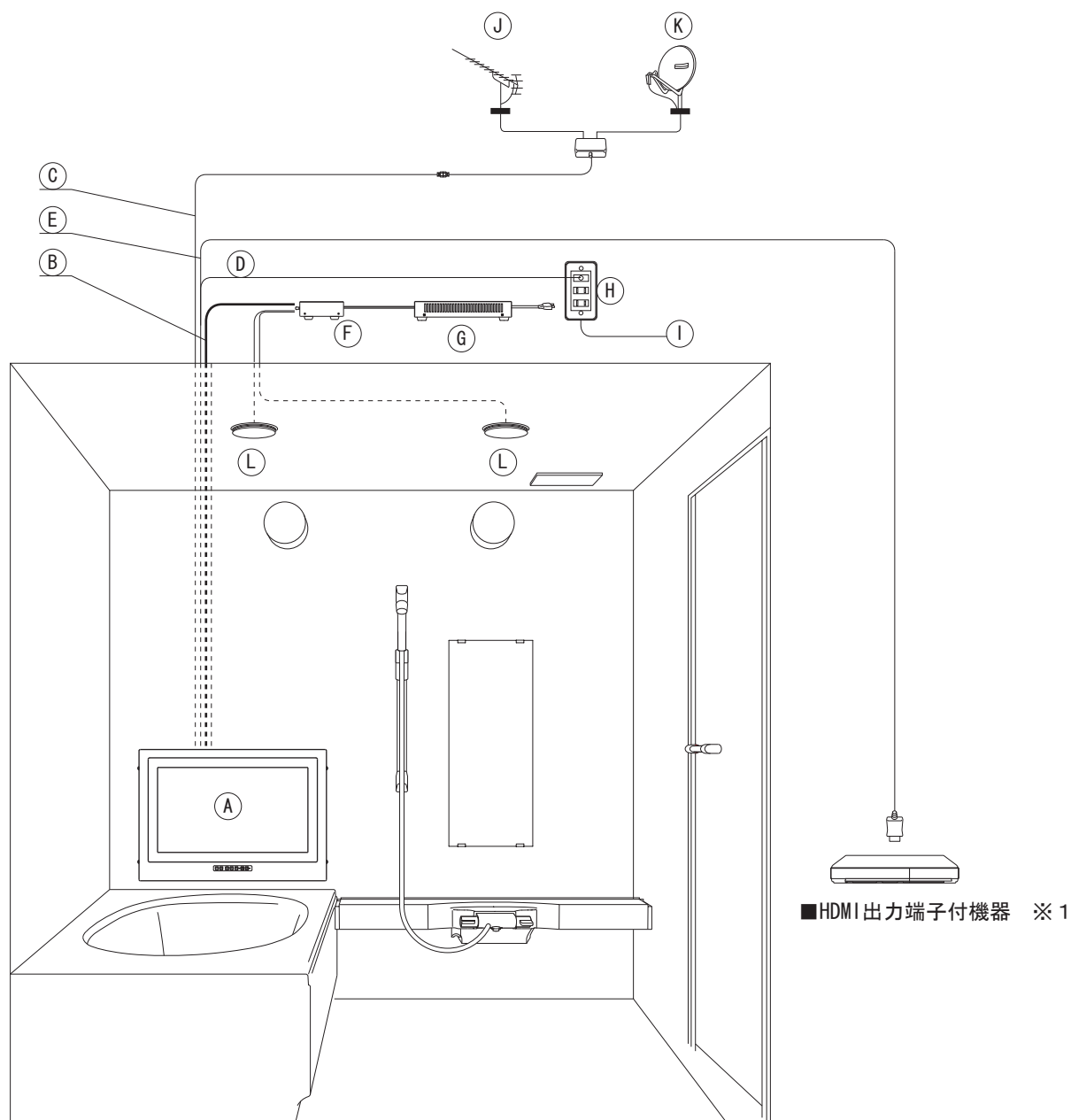
●取扱説明書(1冊)

●設置・施工説明書(本書・1冊)

●保証書(1部)

●B-CASカード番号記入用紙(1枚)

浴室液晶テレビ取付イメージ



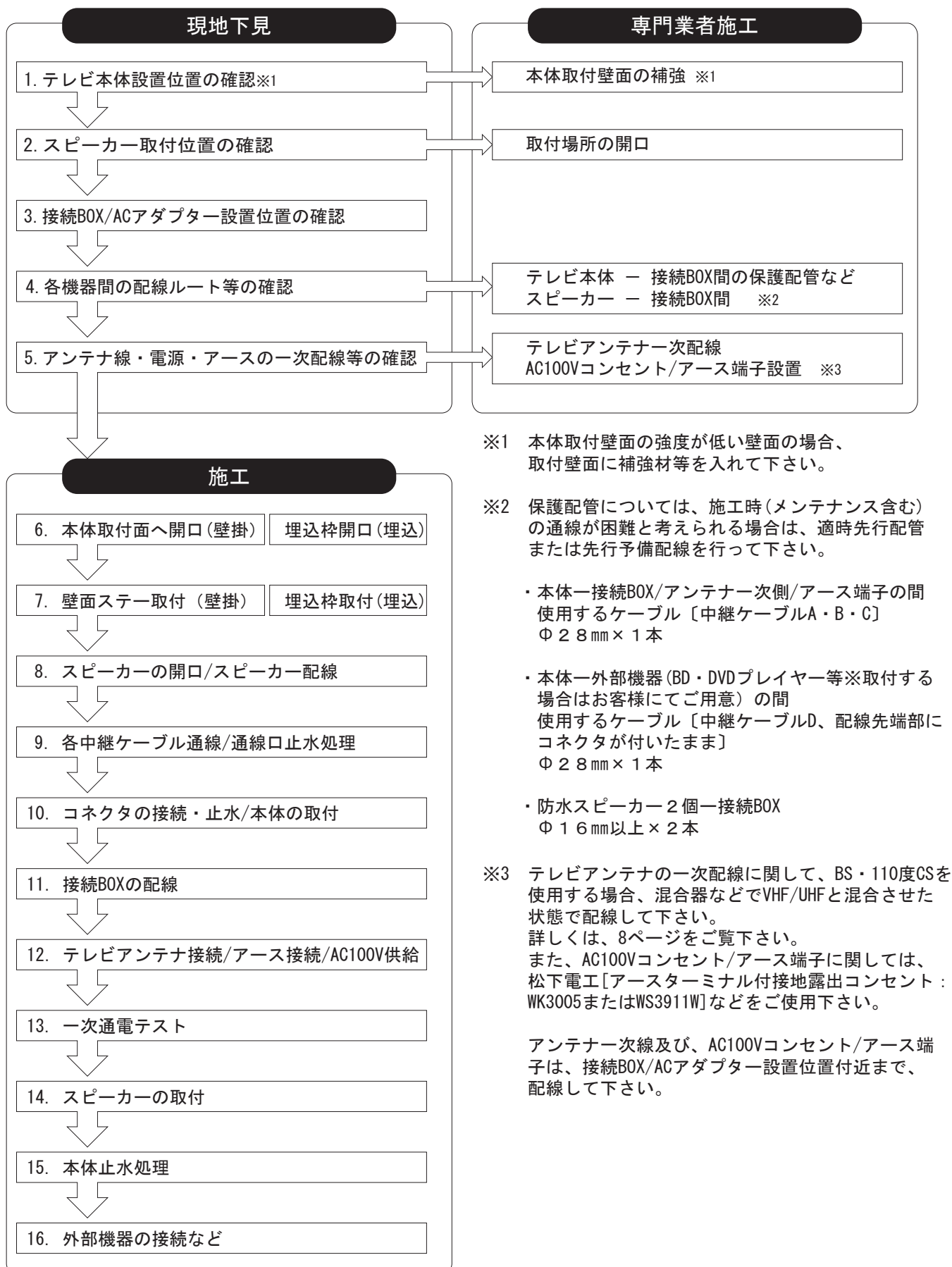
①	浴室液晶テレビ本体	⑧	AC100Vコンセント/アース端子
②	中継ケーブルA (10芯) → 接続BOXへ接続	⑨	AC100V一次側/アース接地側
③	中継ケーブルB (S-4C-FB) → アンテナ一次側へ接続	⑩	UHFアンテナ
④	中継ケーブルC (アース線) → アース端子 (設置) へ接続	⑪	BS/110度CSアンテナ
⑤	中継ケーブルD (HDMIケーブル) → 外部機器へ接続	⑫	防水スピーカー (2台)
⑥	接続BOX	⑬	スピーカーケーブル (2本)
⑦	ACアダプター	⑭	外部機器 (BD/DVDプレイヤー等) ※1

- 上記イメージは、基本接続パターンです。外部機器のご使用など拡張機能を使用する場合は、31ページをご覧ください。
 - 浴室液晶テレビ本体と ② ~ ⑤ の各ケーブルとは浴室液晶テレビ本体背面のコネクタと接続して下さい。
壁面内を隠ぺい配線する場合は、事前に保護配管または予備線の先行配線を行っておくことをお奨めします。
 - 保護配管を設置する場合、② ~ ④ のケーブルでφ28mm×1本、⑤ のケーブルでφ28mm×1本を行って下さい。
⑤ の中継ケーブルD (HDMIケーブル) はコネクタが付いたままの状態で配線する必要があります。護配管の曲げ角度は出来るだけ鋭角にしないようにして下さい。
中継ケーブルDの配線長は10mです。外部機器の設置場所をご考慮ください。
- ※1 取付する場合はお客さまにて、ご用意ください。

施工手順

2. 本体取付位置の確認決定

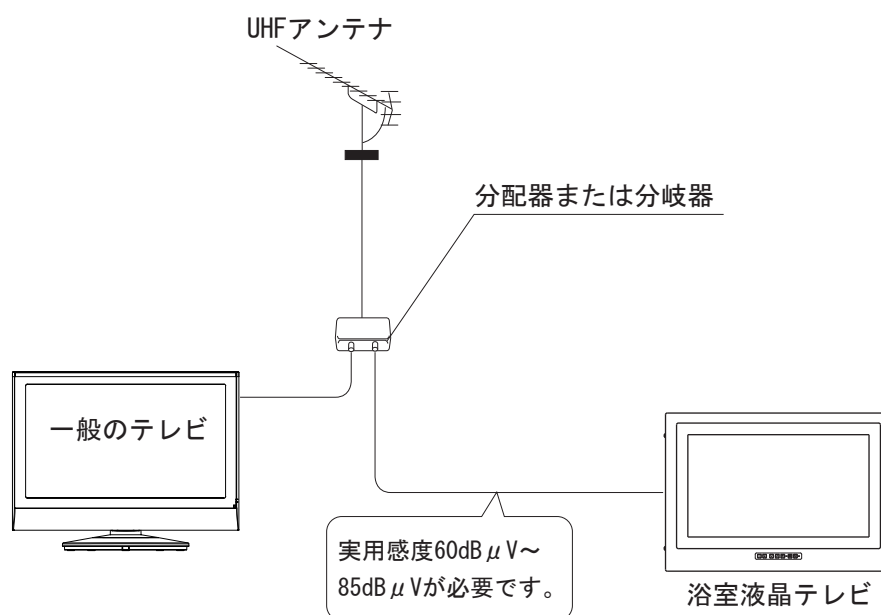
- ・ 施工に関しては下記の手順をご参考下さい。



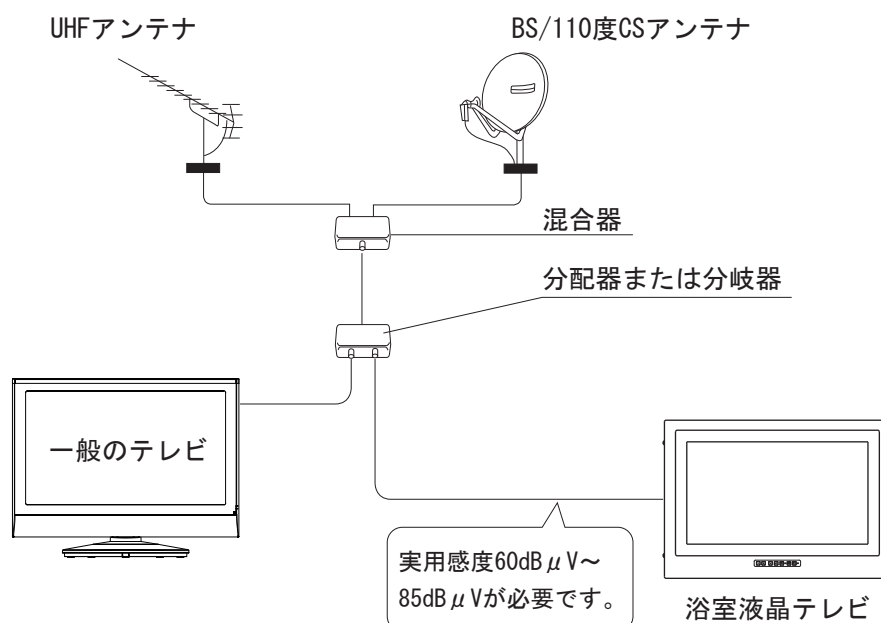
テレビアンテナの一次側配線について

- 本製品は、地上デジタル/地上アナログ/BSデジタル/110度CSデジタルチューナーを内蔵しております。また、CATV(ケーブルテレビ)の場合は、ケーブルテレビ会社にお問い合わせ下さい。設置する浴室液晶テレビでの視聴内容によって、アンテナ線一次側の処理を行って下さい。
- 浴室液晶テレビ供給用に、アンテナ線を分配または分岐すると、信号レベルが減衰する事があります。ブースターを接続するなどして信号レベルを調整して下さい。

地上デジタルを視聴する場合



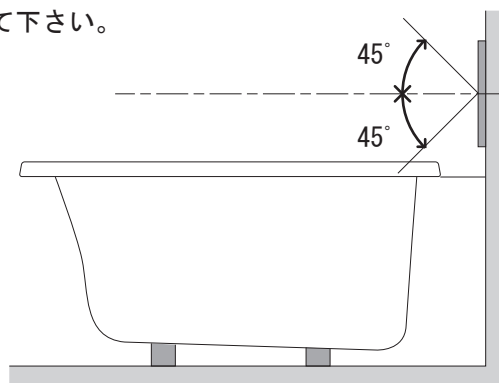
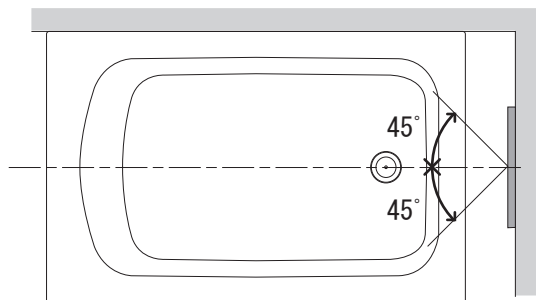
地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタルを視聴する場合



- 浴室液晶テレビへのアンテナ一次側配線は、混合器でUHF/VHFとBS/110度CSを混合させた状態で配線して下さい。

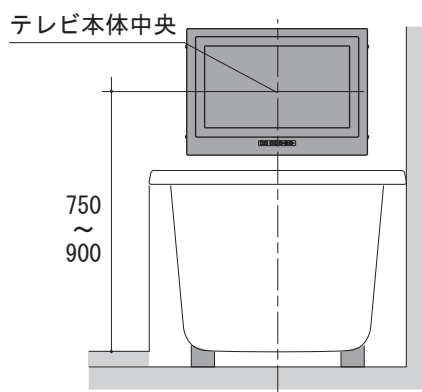
本体取付位置の確認

- 浴室液晶テレビ本体は、以下の取付推奨位置をご参考のうえ、取付位置を決定して下さい。
- 浴室液晶テレビ本体の画面視野角は上下左右176度ですが、長時間の視聴による疲労の少ない、理想的な角度は上下左右90度です。
- 取付位置を決めるにあたり、他器具(水栓金具や壁内配管など)に干渉しないよう、取り合いには十分気を付けて下さい。
- 直射日光や暖房機器の風が当たらない場所に取り付けして下さい。



- 浴室液晶テレビ本体は、型式ごとに寸法が異なります。詳しくは、33ページからの製品外形寸法図をご覧ください。

取付推奨位置・・・あくまで参照値です



SBT-26N1WH

本体取付壁面の強度が低いと考えられる場合

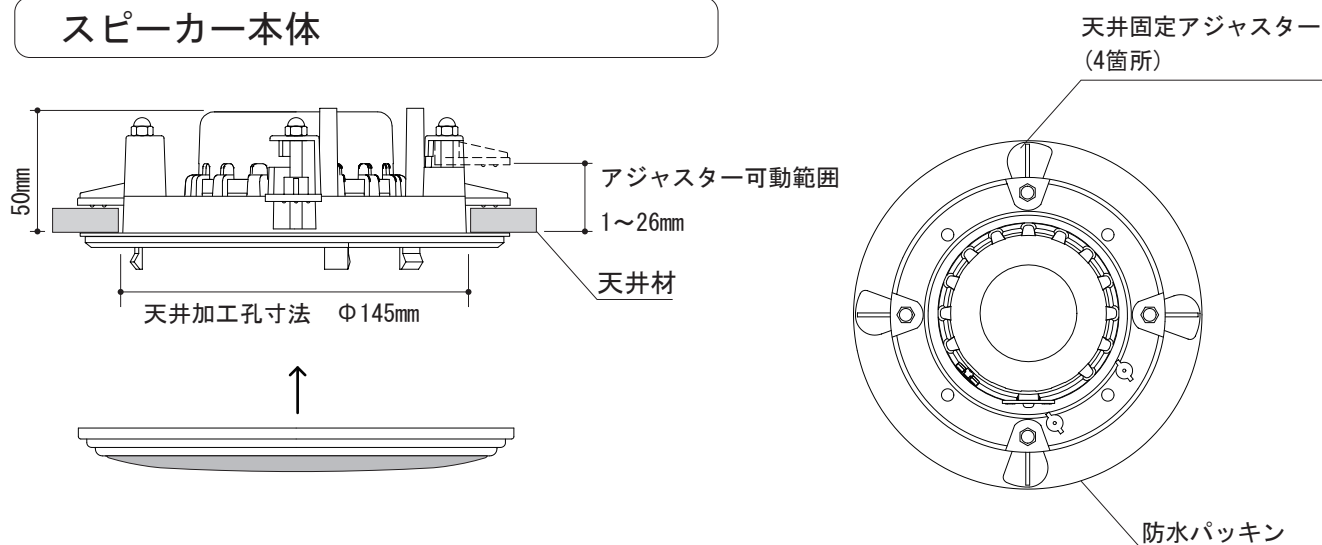
- ・ 専門業者の方に、本体取付壁の裏面への補強工事を依頼して下さい。
- ・ 製品の仕様書をご確認のうえ、本体重量などを報告して下さい。

スピーカー取付位置の確認/決定

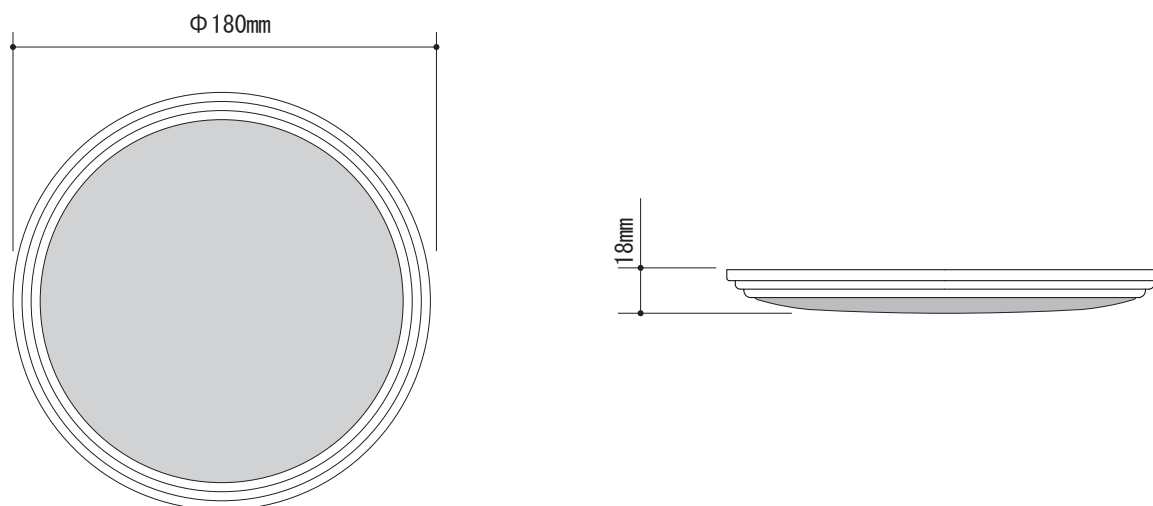
- 以下の手順は、オプションの防水スピーカー[OE-180WR II]をもとに記載しています。
異なるスピーカーを使用する場合は、製品の説明書をご確認下さい。
- 防水スピーカー[OE-180WR II]の開口寸法(Φ145mm)は、接続BOX・ACアダプターを出し入れできる寸法です。
浴室内に点検口がない場合は防水スピーカー設置位置付近に接続BOX・ACアダプターを設置することが出来ます。
- スピーカーはローインピーダンススピーカーをご使用下さい。(4Ω～16Ω)
- 取付位置については任意ですが、天井の材質、補強材の位置などを調べたうえでスピーカー取付位置を決定して下さい。

■ スピーカー2台接続が必須となります。これにより(ステレオ仕様)、臨場感あるサウンドを楽しむことが出来ます。また、1台の接続の場合は接続した片側の音声しか発声しません。

スピーカー本体



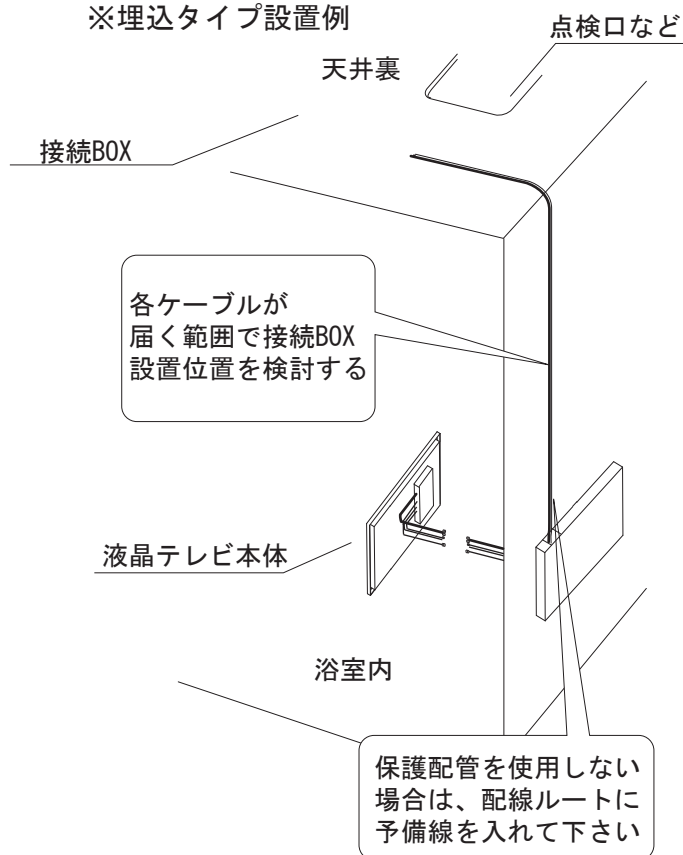
スピーカーグリル



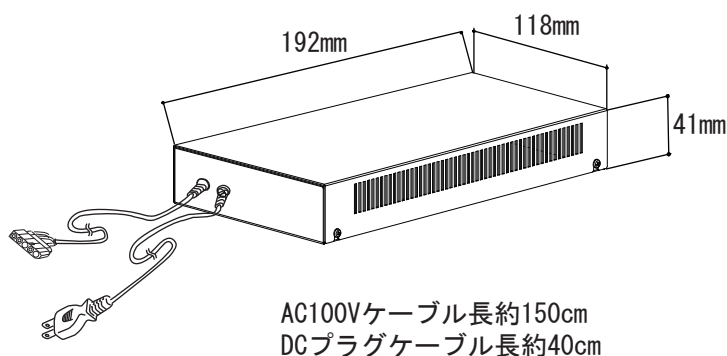
接続BOX/ACアダプター設置位置の確認

- 接続BOX/ACアダプターの設置場所により、各ケーブルの通線経路が決まります。
接続BOX及びACアダプターは水平な場所を選んで設置して下さい。
また、テレビアンテナ線など、複数のケーブルを接続するため、点検口付近などの点検できる位置を選んでください。
- 浴室液晶テレビ本体からの各ケーブルは、本体背面から約700mm出ており、コネクタ及びジョイントになっています。接続したコネクタ等は浴室液晶テレビ背面にスペース有り。
各ケーブルの長さは約7mです。(一部10m)
届く範囲に接続BOX・ACアダプターを設置して下さい。
- 防水スピーカー[OE-180WR II]の開口寸法(Φ145mm)は、接続BOX・ACアダプターを出し入れできる寸法です。
浴室内に点検口がない場合は防水スピーカー設置位置付近に設置することが出来ます。

※埋込タイプ設置例



ACアダプター寸法



AC100Vコンセント/アース端子設置

- ・ 専門業者の方に、AC100Vコンセント/アース端子の設置を依頼して下さい。
- ・ 上記設置位置については、接続BOX/ACアダプター設置位置付近となります。

テレビアンテナ一次側配線

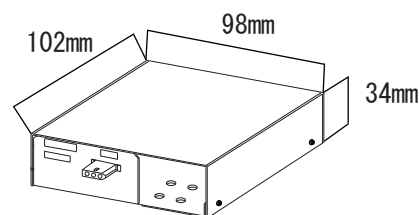
- ・ 専門業者の方に、テレビアンテナの一次側配線を依頼して下さい。

本体 — 接続BOXの保護配管

スピーカー — 接続BOXの保護配管

- ・ 専門業者の方に、保護配管を依頼して下さい。
- ・ 浴室液晶テレビ本体 — 接続BOX/テレビアンテナ一次側/アース端子の間
中継ケーブルA・B・C…Φ28mm×1本
- ・ 浴室液晶テレビ本体 — 外部機器※お客様ご用意品 (BD・DVDプレイヤー等、配線先端にコネクタが付いたまま)の間
中継ケーブルD…Φ28mm×1本
- ・ スピーカー — 接続BOX…Φ16mm以上×2本 (スピーカー2台)

電源ユニット寸法



接続BOXには、コネクタ接続部、配線口があります。
周辺スペースを十分に確保して下さい。

施工手順のご確認

- ・ 壁掛タイプと埋込タイプで参照するページが一部異なります。

壁掛タイプ

6. 本体取付面へ開口 13ページ



7. 壁面ステー取付 14ページ



8. スピーカーの開口/スピーカー配線 17ページ



9. 各中継ケーブルの通線/通線口止水処理 18ページ



10. コネクタの接続・止水/本体の取付 20ページ



11. 接続BOXの配線 23ページ



12. 一次側テレビアンテナ接続/アース接続/AC100V供給 26ページ



13. 一次通電テスト 28ページ



14. スピーカーの取付 29ページ



15. 本体止水処理 30ページ



16. 外部機器の接続 31ページ

埋込タイプ

6. 埋込枠の開口 15ページ



7. 埋込枠の取付 16ページ



8. スピーカーの開口/スピーカー配線 17ページ



9. 各中継ケーブルの通線/通線口止水処理 18ページ



10. コネクタの接続・止水/本体の取付 20ページ



11. 接続BOXの配線 23ページ



12. 一次側テレビアンテナ接続/アース接続/AC100V供給 26ページ



13. 一次通電テスト 28ページ



14. スピーカーの取付 29ページ



15. 本体止水処理 30ページ



16. 外部機器の接続 31ページ

本体取付面への開口(壁掛タイプ)

- 浴室液晶テレビ本体の取付位置が決定したら、壁面ステー固定用下穴、及び本体システムケーブルの通線口をそれぞれあけます。

1

壁面ステーを取付位置に仮設置し、水平器で水平を確認しながら下穴位置と通線口をすみ出します。

- ・ タイルや石等の目地を避けて、壁面ステー固定用の下穴を空けます。
- ・ 壁面ステー固定用下穴は最低4箇所、なるべく4すみに空けて下さい。
- ・ 壁面の材質により、固定強度を確保できない場合は、壁面裏に補強材などを追加して下さい。



下穴位置と通線口位置は、型式によって異なります。詳しくは36ページ以降を参照して下さい。

〈SBT-26N1W施工例〉

通線口位置に
マーキングする
(下穴サイズΦ40mm)

下穴位置に
マーキングする
(下穴サイズ
Φ6mm×30mm)

石・タイル目地

壁面ステー

2

すみ出した下穴位置と通線口に穴を空ける

- ・ 下穴サイズはΦ6mm、奥行きは30mm以上空けて下さい。
- ・ 通線口サイズはΦ40mm空けて下さい。

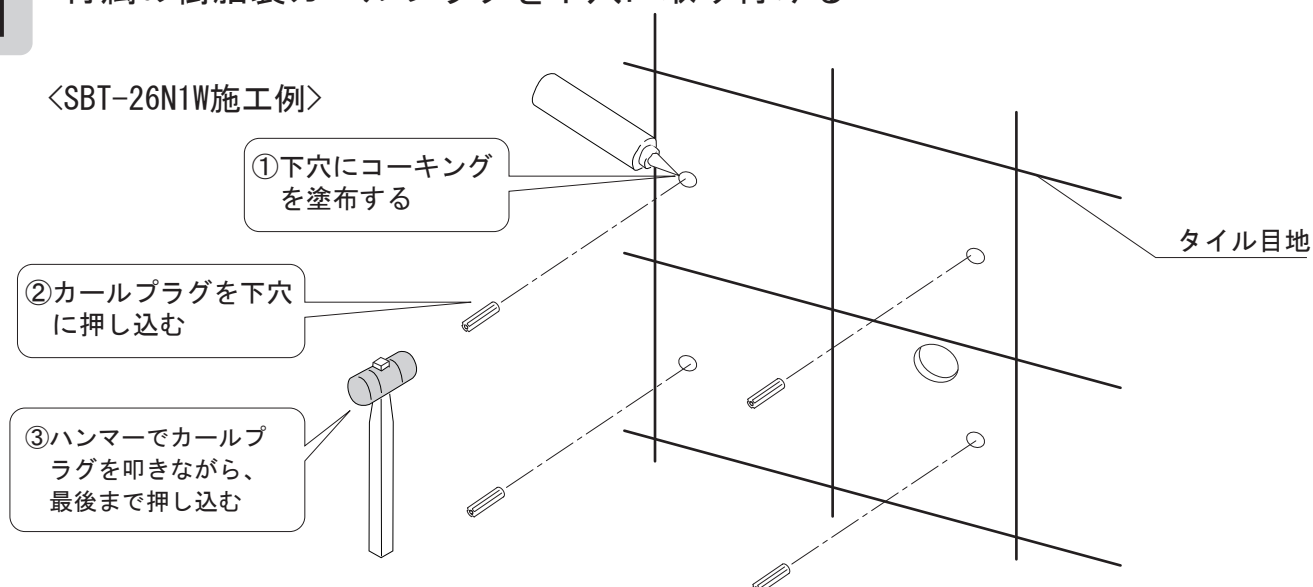


上記、通線口の開口記載はあくまで一例です。壁面の材質、構造、保護配管の不要・必要によって開口サイズ等は変わってきますのでご注意下さい。

壁面ステーの取付(壁掛タイプ)

1 付属の樹脂製カールプラグを下穴に取り付ける

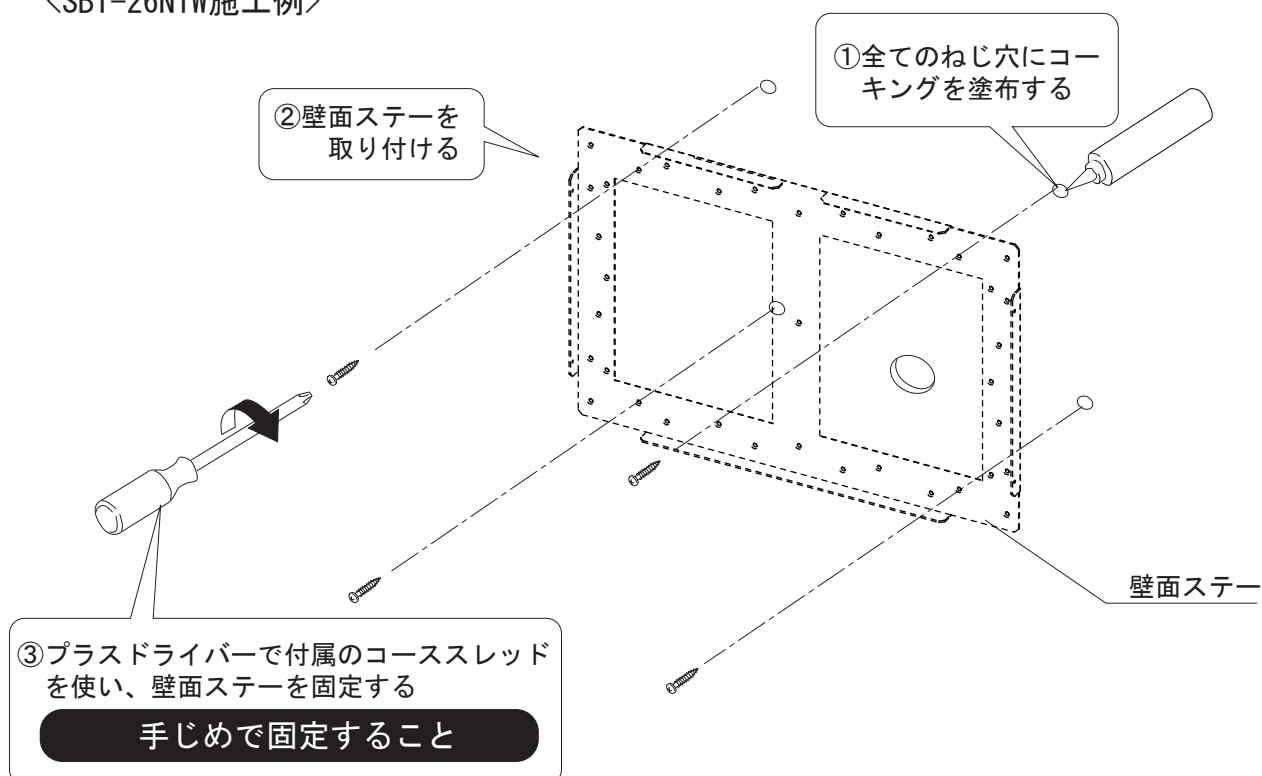
〈SBT-26N1W施工例〉



2 壁面ステーを固定する

- ・ コーススレッドのねじ締め付けは、最終的には手締めで行ってください。
壁面の材質により、ひび割れや崩れを起こす場合がありますので十分ご注意ください。

〈SBT-26N1W施工例〉

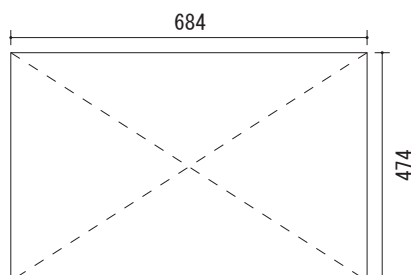


本体取付面への開口(埋込タイプ)

- 浴室液晶テレビ本体の取付位置が決定したら、埋込枠の開口を行います。

1

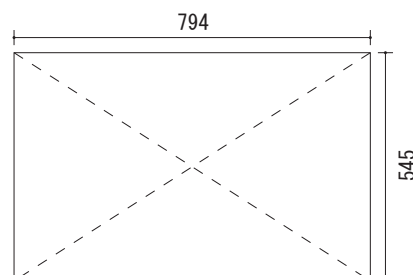
埋込枠取付用開口を行う。



SBT-26N1W-in

684 (W) × 474 (H)

奥行は壁面から65mm以上開ける事



SBT-32N1W-in

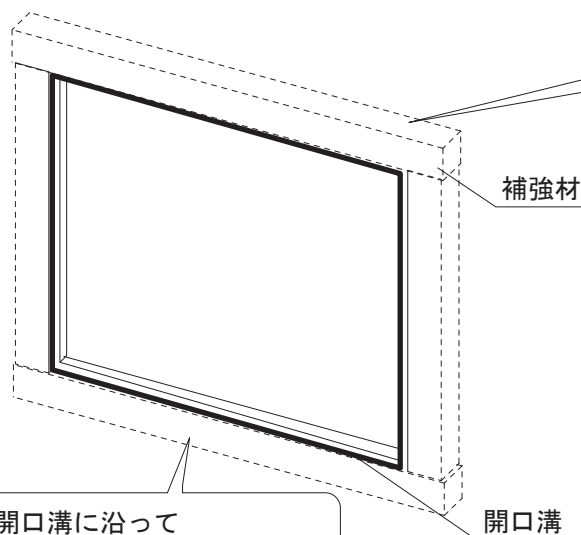
794 (W) × 545 (H)

奥行は壁面から65mm以上開ける事

2

開口部壁面内に補強材を取付する。

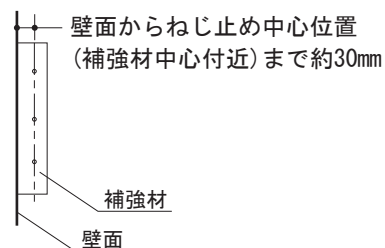
この手順は一般的な例をもとに記載しております。壁面の構造や強度に応じて適時補強を行ってください。



開口溝に沿って
上下左右に補強材を入れる
(接着剤等で固定)

補強材と埋込枠をビス固定する関係上、
補強は以下のように行って下さい。

SBT-26/32N1W-in



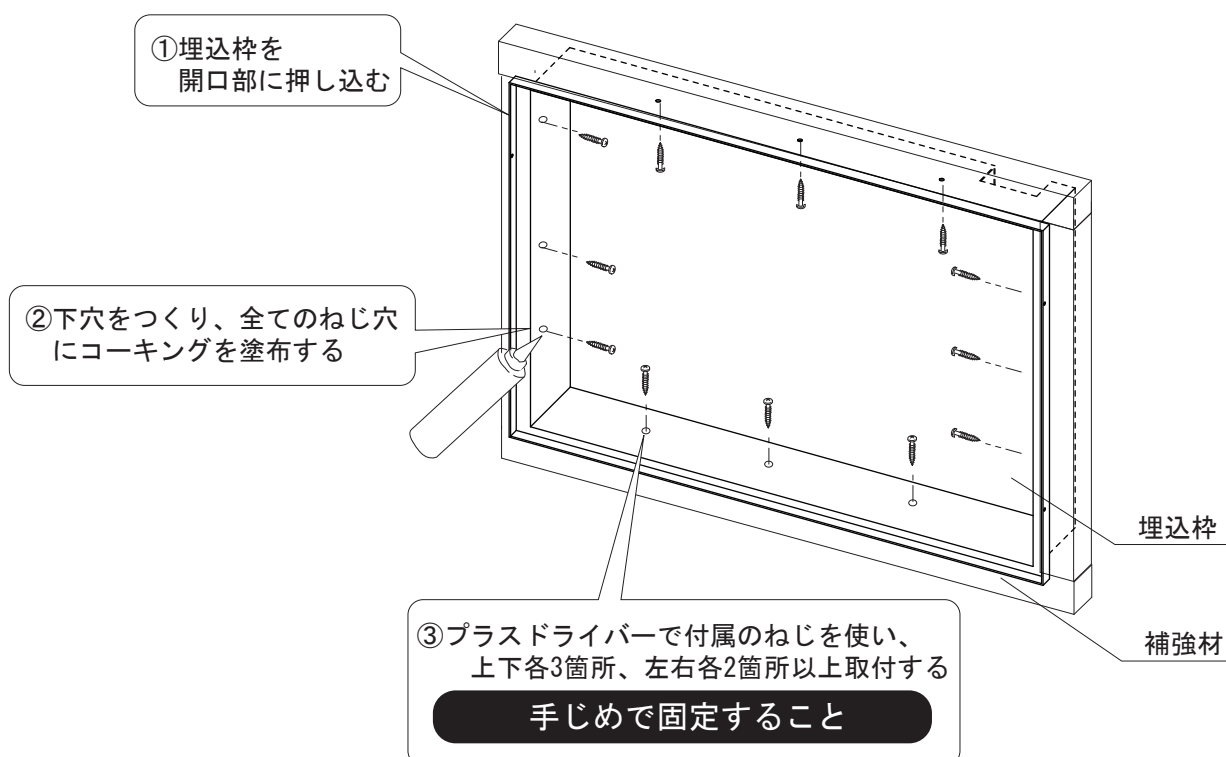
埋込枠の取付 (埋込タイプ)

1

埋込枠を固定する

- ・ 補強材の取付が終わったら、埋込枠を固定します。
- ・ 埋込枠固定用のねじを入れる前に、ねじの下穴を作りコーキングします。
- ・ 埋込枠固定用のねじ締め付けは、最終的には手締めで行ってください。

<SBT-26N1W-in施工例>

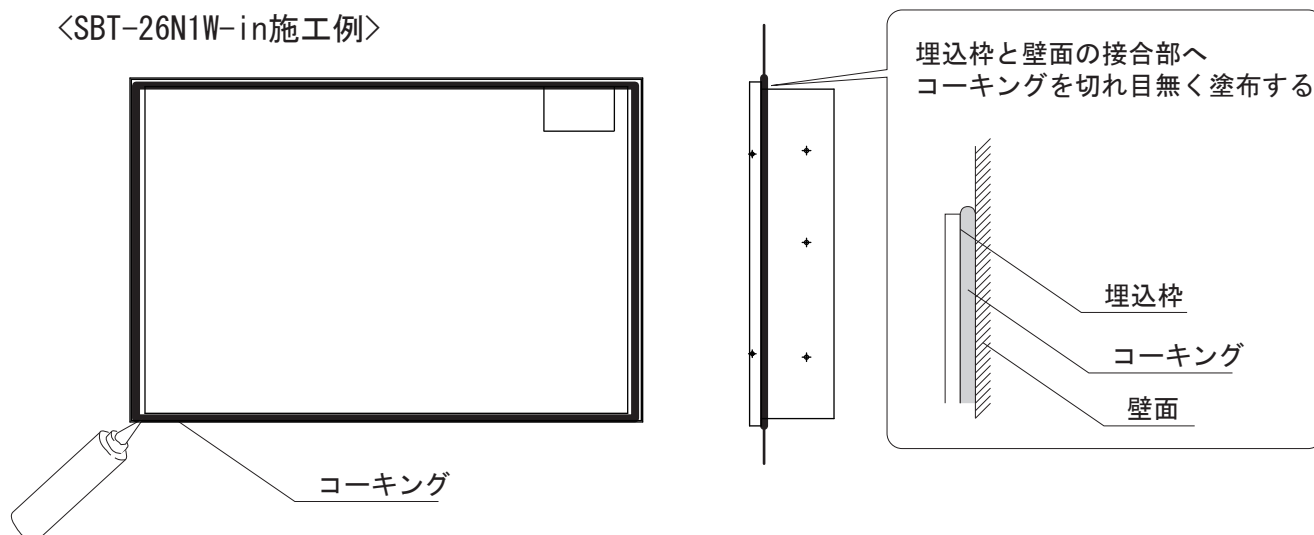


2

埋込枠外周を止水処理する

- ・ 埋込枠と壁面の接合部にコーキングを塗布し、一次止水処理を行ってください。

<SBT-26N1W-in施工例>

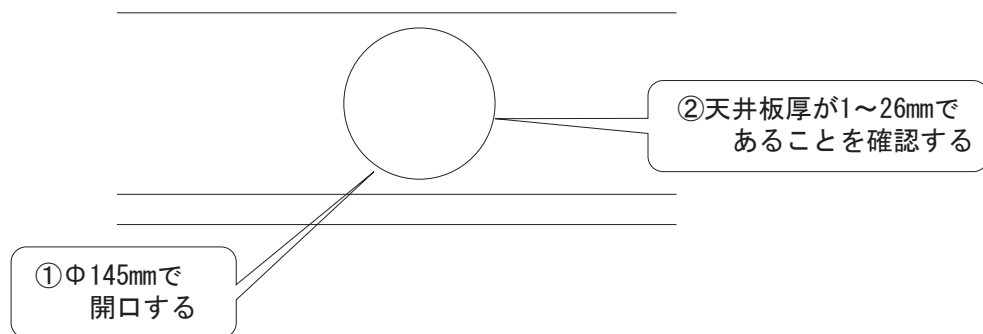


スピーカーの開口/配線

- ・ 天井の材質、補強材の位置などを調べたうえでスピーカー用の開口を行ってください。
- ・ 以下の手順は、オプションの防水スピーカー[OE-180WR II]をもとに記載しています。異なるスピーカーを使用する場合は、製品の説明書をご確認下さい。

1

スピーカーの開口を行う

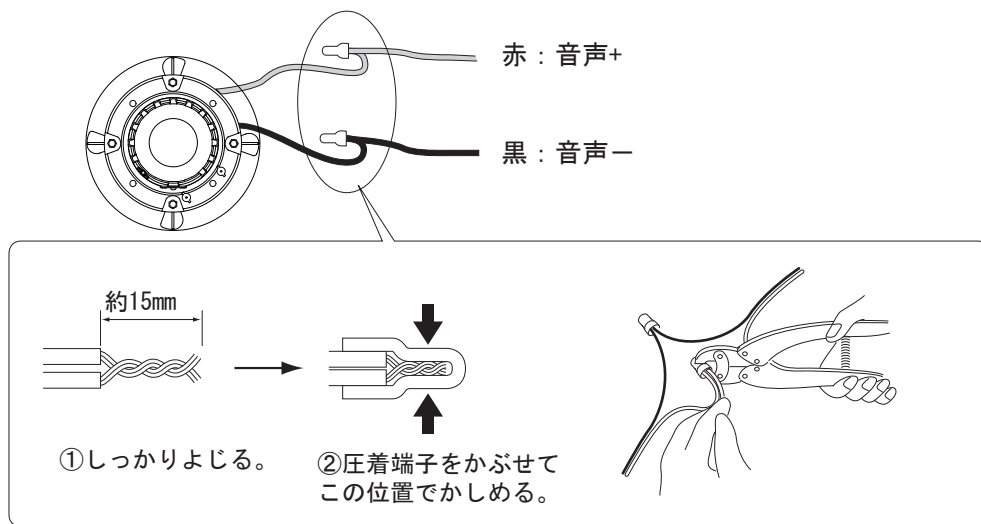


- ・ 防水スピーカー[OE-180WR II]の開口寸法(Φ145mm)は、接続BOX, ACアダプターを出し入れできる寸法です。浴室内に点検口がない場合は防水スピーカー設置位置付近に接続BOXを設置することが出来ます。

2

スピーカーの配線を延長接続する

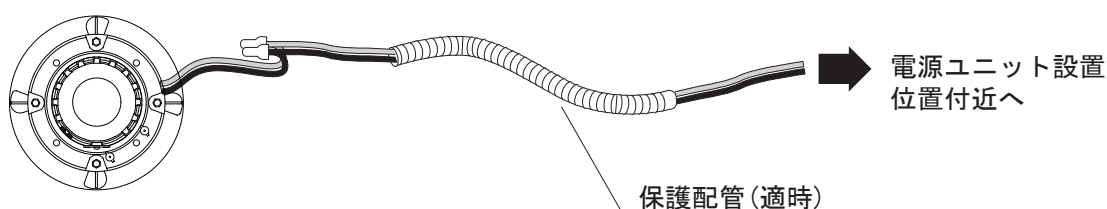
- ・ スピーカーに付属の延長ケーブルを接続します。同じ色同士で圧着して下さい。



3

スピーカーの配線を接続BOX設置位置付近へ通線する

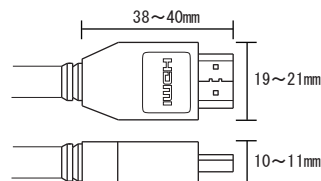
- ・ スピーカーに接続した延長ケーブルの片側を、接続BOX設置位置付近へ配線します。



各中継ケーブル通線

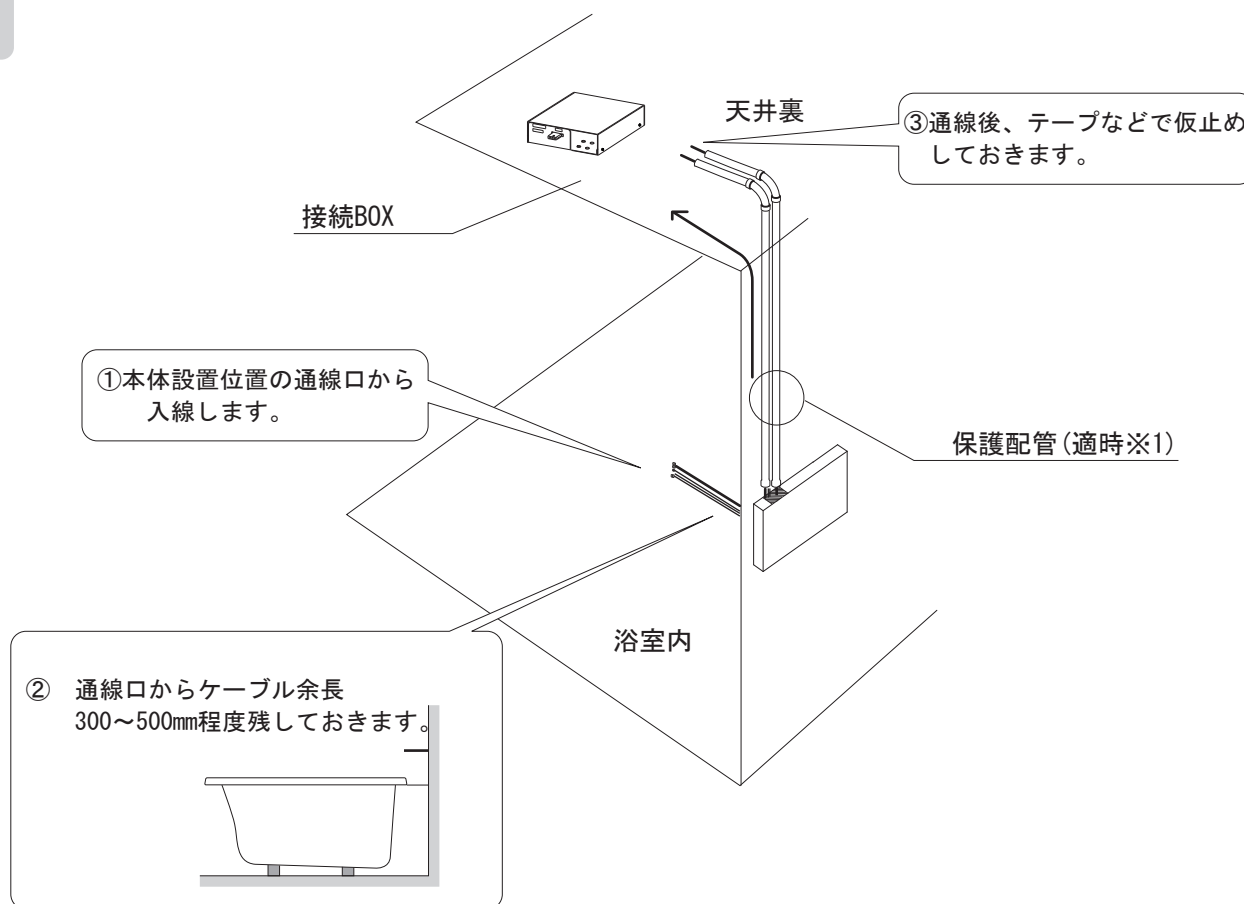
各配線ケーブルについて

- ・ 中継ケーブルA (システムケーブル 10芯) $\Phi 7.5\text{mm}$
テレビ本体側〔接続コネクタ〕ー接続BOX側〔先端半田処理〕
- ・ 中継ケーブルB (同軸ケーブル S-4C-FB) $\Phi 6.5\text{mm}$
テレビ本体側〔4C接線〕ー一次側アンテナ接続側〔切りっぱなし〕
- ・ 中継ケーブルC (アースケーブル KIV0.75mm) $\Phi 2.5\text{mm}$
テレビ本体側〔接続コネクタ〕ーアースターミナル接続側〔切りっぱなし〕
- ・ 中継ケーブルD (HDMIケーブル 10m)
テレビ本体側〔接続コネクタ〕ー外部機器側〔接続コネクタ〕
※HDMIケーブルのコネクタサイズは右図を
ご参考して下さい。切断不可。



1

各中継ケーブルを、接続BOX設置位置付近まで通線する



- ・ 通線は、本体設置位置から入線し、天井裏などの接続BOX設置位置付近へと通線します。
- ・ 配線のカットや延長は、動作不良の原因となります。ケーブルの加工は絶対に行わないで下さい。
- ・ HDMIのコネクタサイズが大きい為、通線時には特にご注意下さい。

※.1 保護配管を使用する場合

中継ケーブルA・B・Cの3本で配管サイズは $\Phi 28\text{mm} \times 1$ 本を使用してください。
中継ケーブルDの1本で配管サイズは $\Phi 28\text{mm} \times 1$ 本を使用してください。

ケーブル通線口止水処理

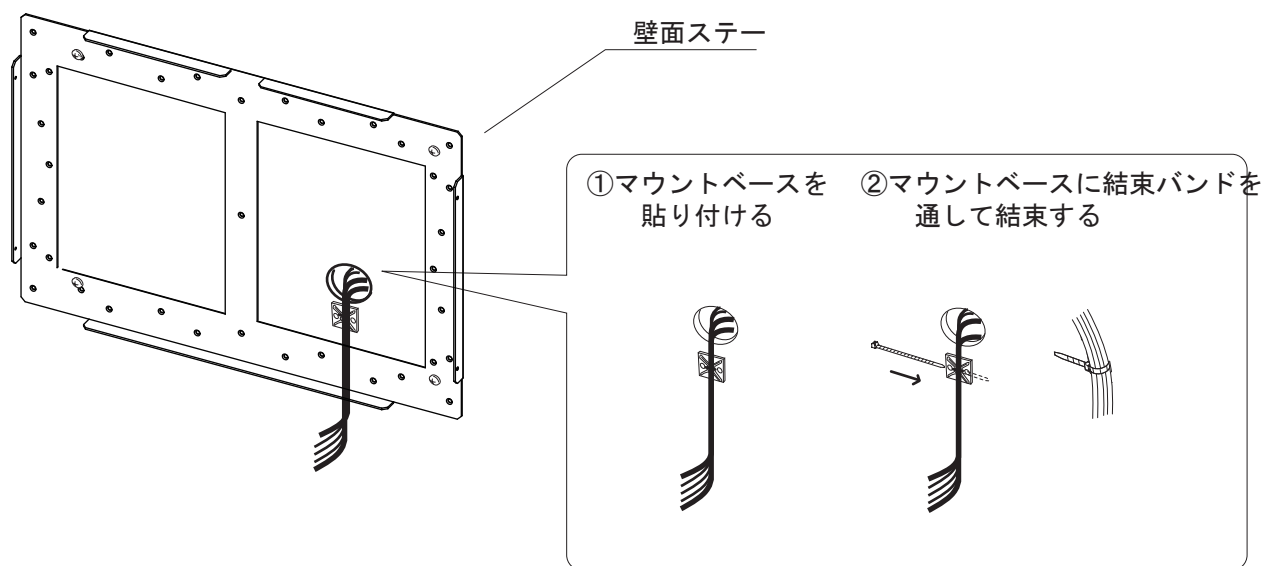
- 通線が終了したら、通線口に止水処理を行います。

1

壁面に付属のマウントベースを貼り付け、付属の結束バンドでシステムケーブルを固定する

- ・ マウントベースは、本体とマウントベースが当たらない場所（通線口開口範囲内）に貼り付けして下さい。

〈SBT-26N1W施工例〉

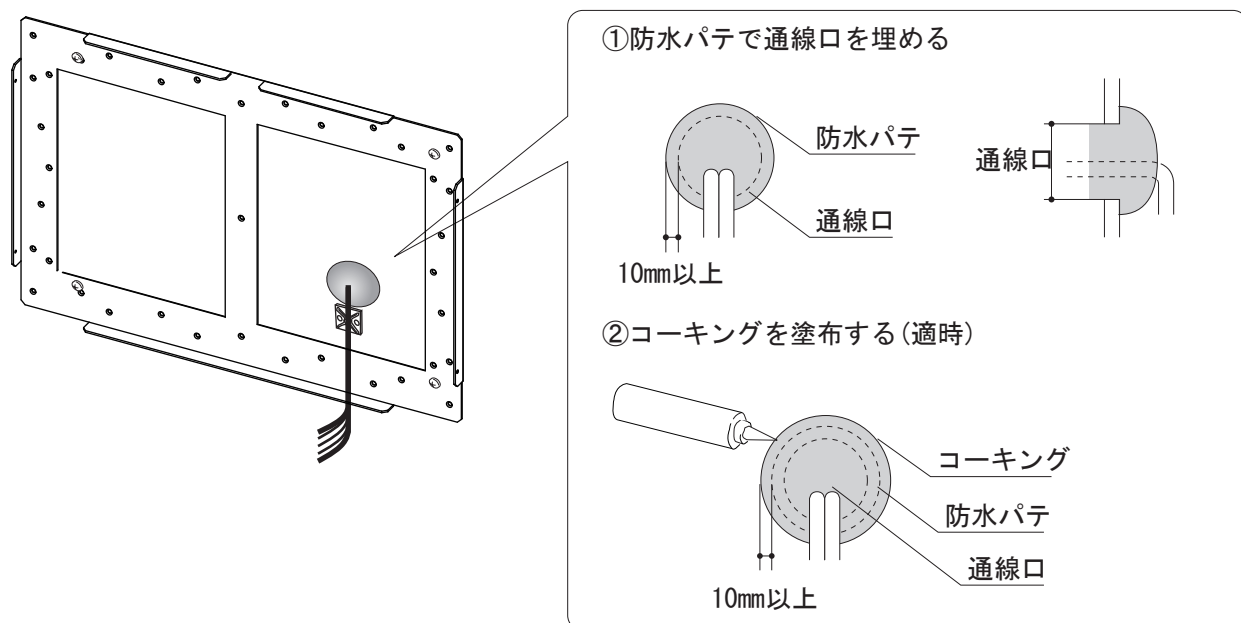


2

通線口を付属の防水パテで埋める

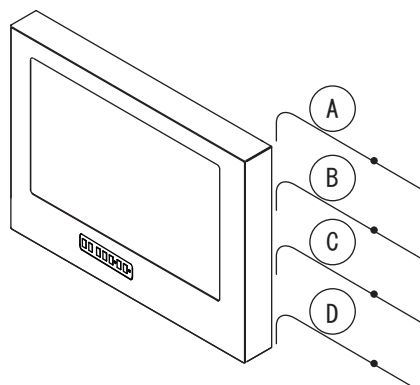
- ・ 防水パテだけでは壁面内部の止水処理が不十分と考えられる場合、さらにコーキングなどで二次止水処理を行って下さい。

〈SBT-26N1W施工例〉

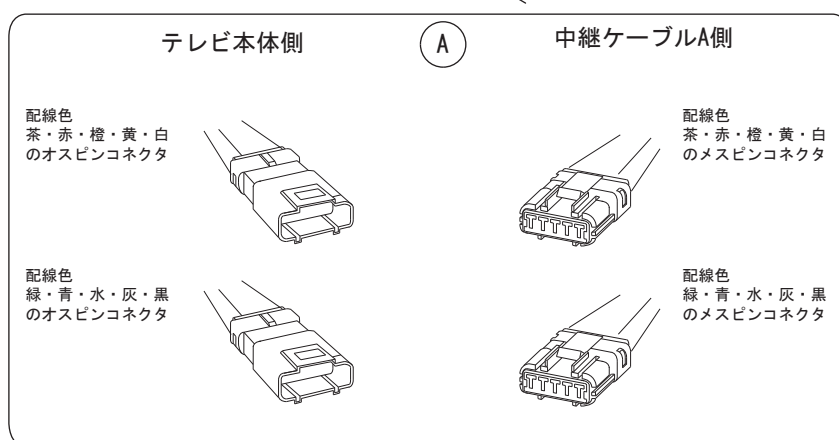


コネクタの接続・コネクタ防水処理

- テレビ本体の背面のコネクタと各中継ケーブルを接続します。中継ケーブルAとCは防水コネクタになっています。

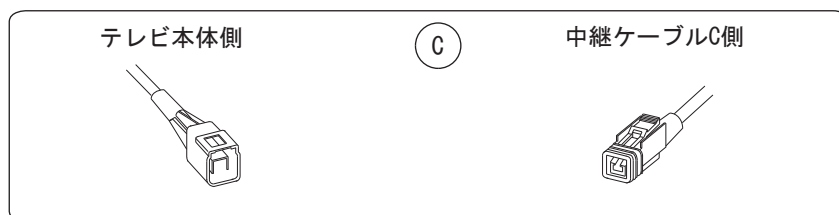


1



テレビ本体側と中継ケーブルAのコネクタ2個を色同士
「カチッ」とロック音がするまで確実に差し込む。

2

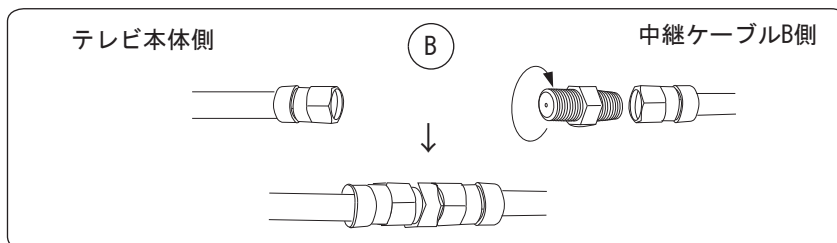


テレビ本体側と中継ケーブルCのコネクタを
「カチッ」とロック音がするまで確実に差し込む。

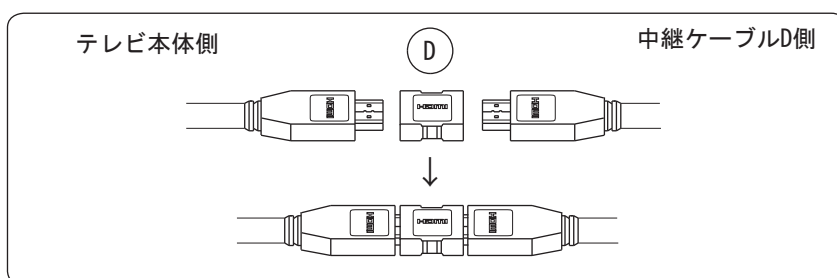
コネクタの接続・コネクタ防水処理 2

- テレビ本体の背面のコネクタと中継ケーブルBとDを接続して、エフコテープ(2号)で接合部を防水処理してください。

3

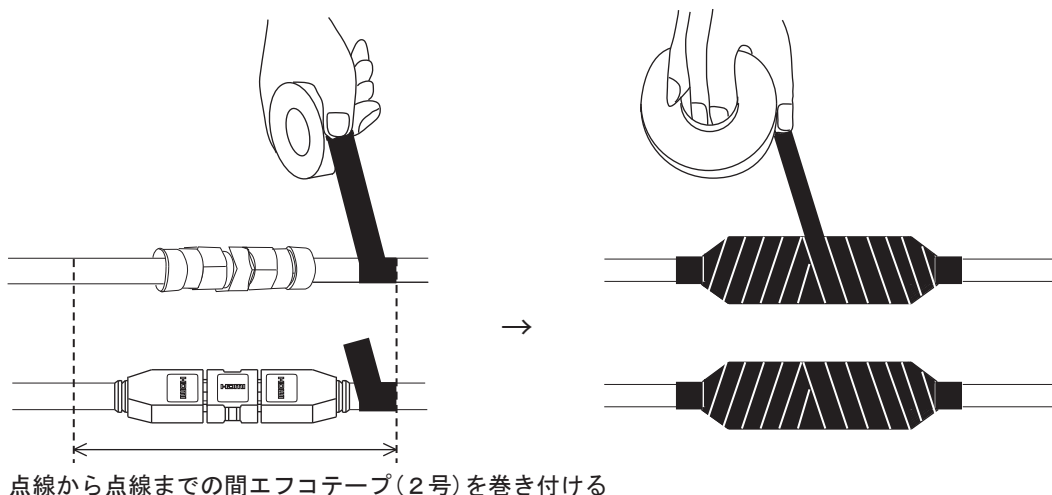


4



各コネクタと各中継ケーブルをしっかり差し込んでから、エフコテープ(2号)で、配線から配線まで巻き付けます。

※Dコネクタは差し込むだけで、ロックはありません。エフコテープ(2号)を巻く時には外れないように、注意して巻き付けて下さい。



エフコテープ(2号)

■使用方法

対象物の表面を清浄した後、テープにしわがよらず、対象物に密着する程度(テープ巾が約1mm狭くなる程度)に軽く引張りながら接着面を内側にし、1/2の重なりで対象物に巻き付けます。(伸ばし過ぎないように注意して下さい。)

■注意

寒冷時には少し暖めて使用して下さい。また、夏期に直射日光下におきますと、接着層が軟化し過ぎる恐れがありますから、注意して下さい。

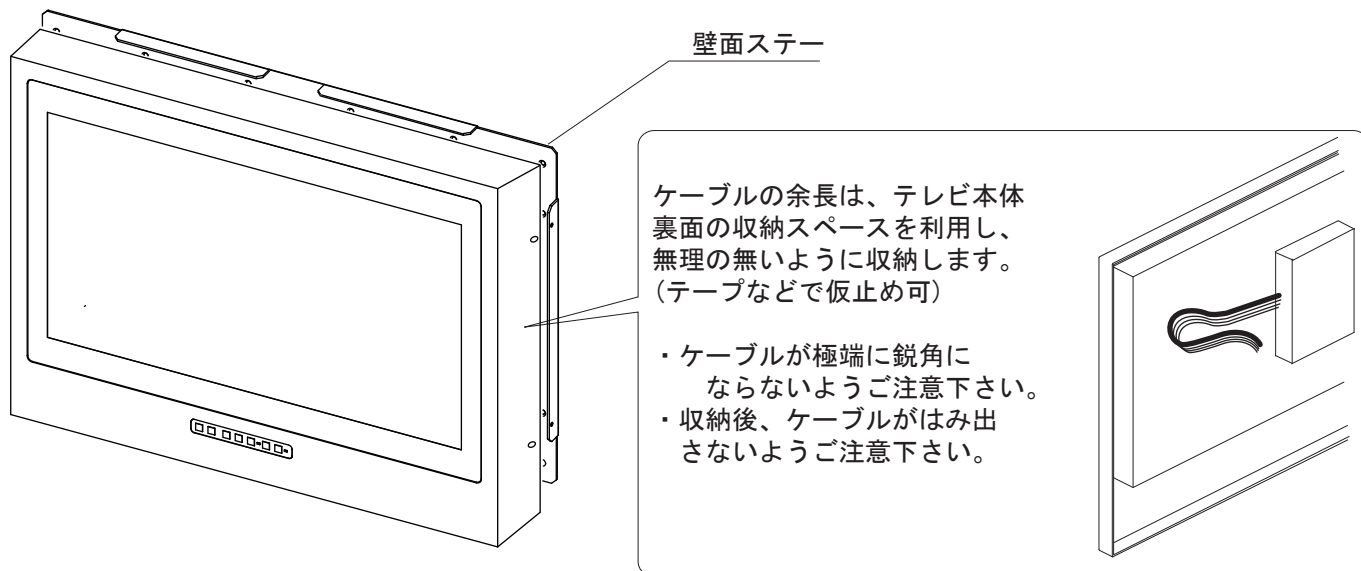
本体の取付

- 接続及び止水処理が終了したら、浴室液晶テレビ本体を固定します。

1

システムケーブルを整線する

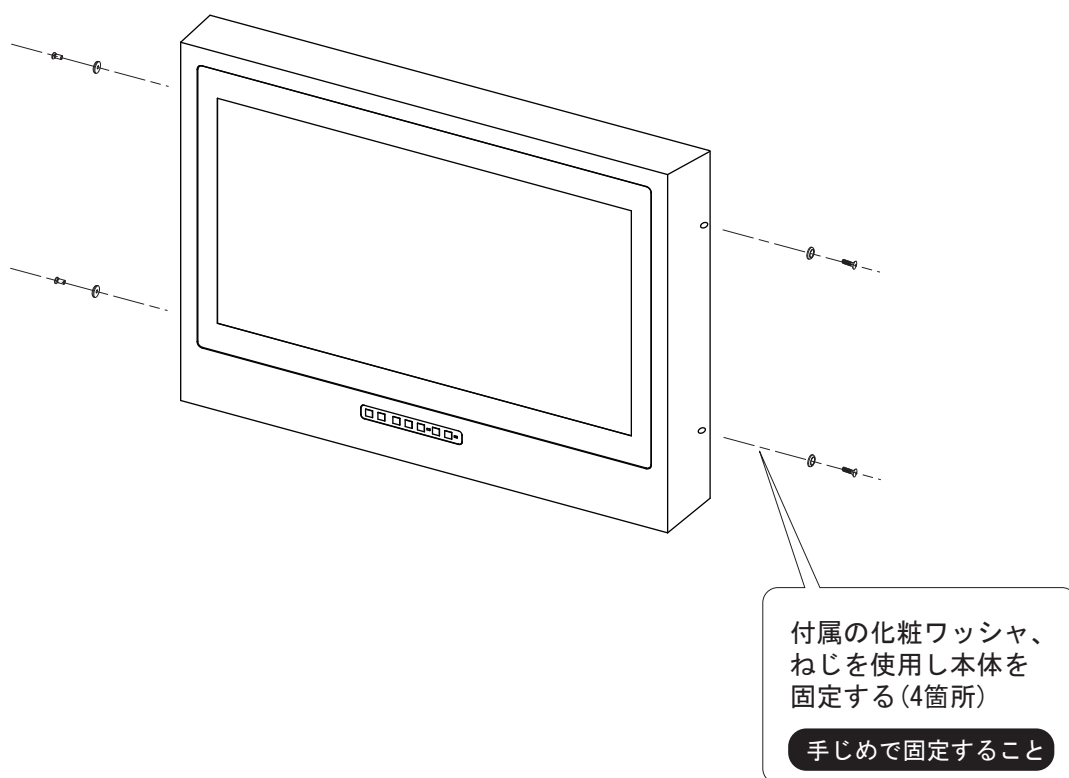
〈SBT-26N1W 施工例〉



2

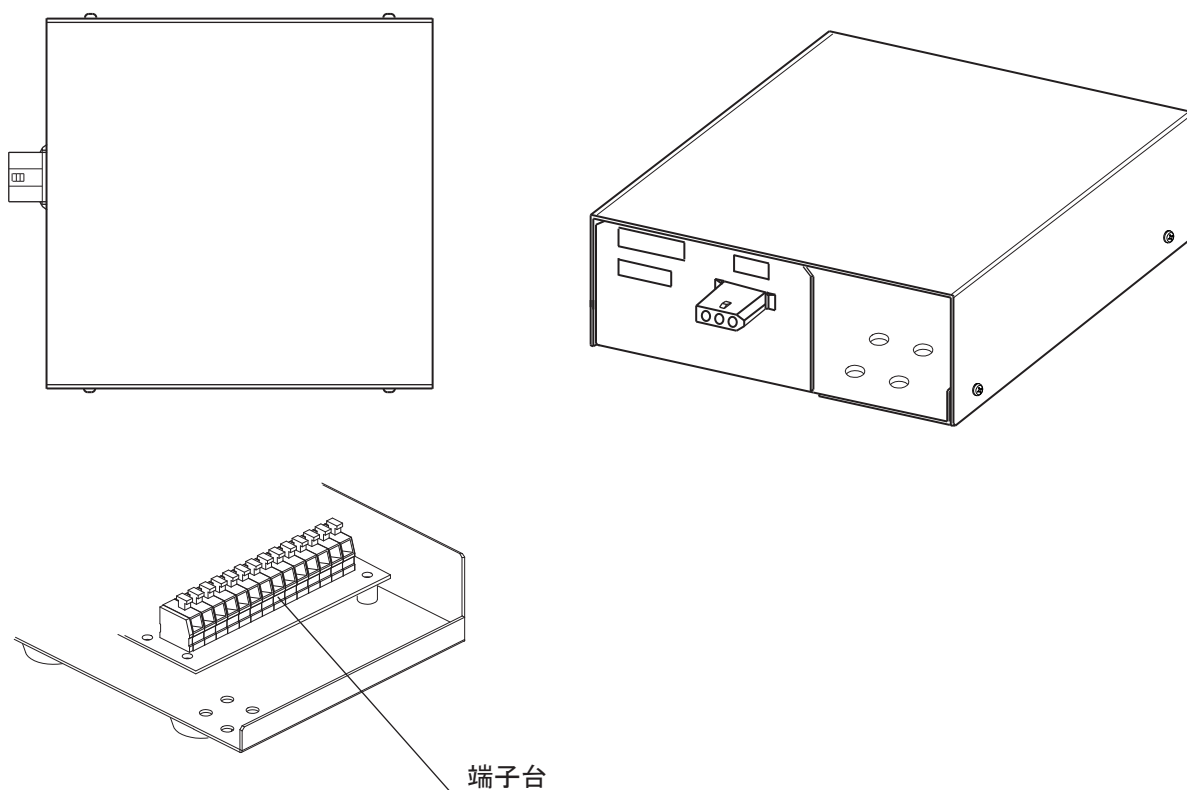
浴室液晶テレビ本体を壁面ステーに合わせ、本体左右でねじ固定する

※ 埋め込みタイプも同様にねじで固定する



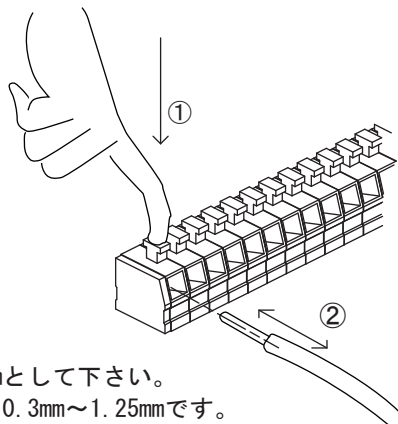
接続BOXの配線 1

1 接続BOXの左右 4 ヶ所のビスを外しカバーを開ける



端子台へのケーブル着脱方法

- ①端子台のヘッドピンを押します。
- ②ケーブルを着脱します。



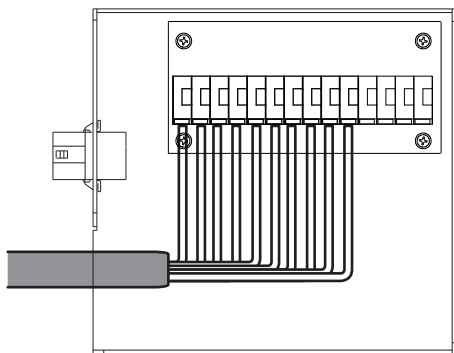
ケーブルのむきしろは10mmとして下さい。
着脱可能なケーブル径はΦ0.3mm～1.25mmです。

接続BOXの配線 2

- 浴室液晶テレビ本体からの中継ケーブルAとスピーカーからのケーブルを、接続BOX端子台へ接続します。

2

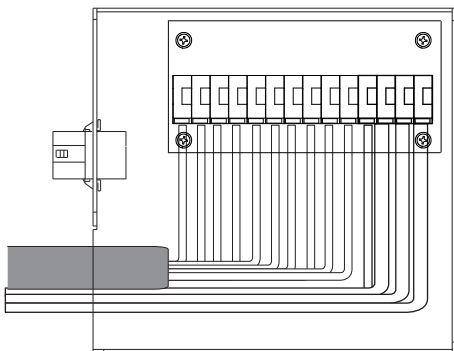
中継ケーブルA(10芯：灰色ケーブル) を端子台へ接続する



端子台番号	線色	サイズ
1	茶	Φ0.3
2	赤	Φ0.3
3	橙	Φ0.3
4	黄	Φ0.3
5	白	Φ0.3
6	緑	Φ0.3
7	青	Φ0.3
8	水	Φ0.3
9	灰	Φ0.3
10	黒	Φ0.3

3

スピーカーケーブルを端子台へ接続する



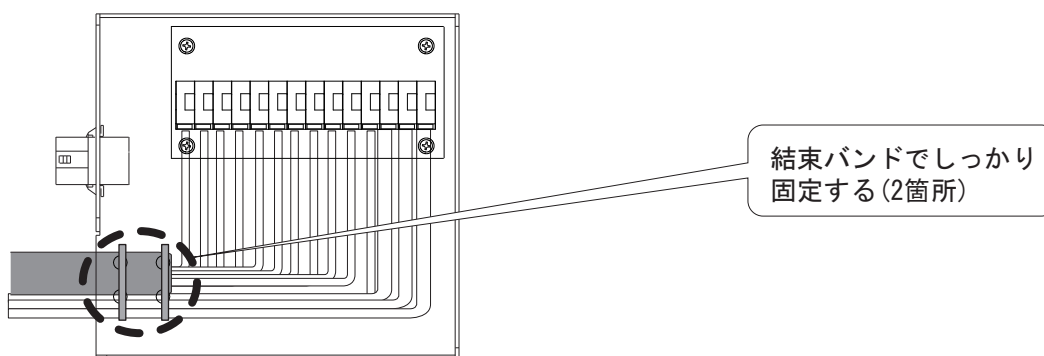
端子台番号	線色	サイズ
11	スピーカー左+	Φ0.5
12	スピーカー左-	Φ0.5
13	スピーカー右+	Φ0.5
14	スピーカー右-	Φ0.5

接続BOXの配線 3

- 浴室液晶テレビ本体からの中継ケーブルAとスピーカーからのケーブルを、接続BOX端子台へ接続します。

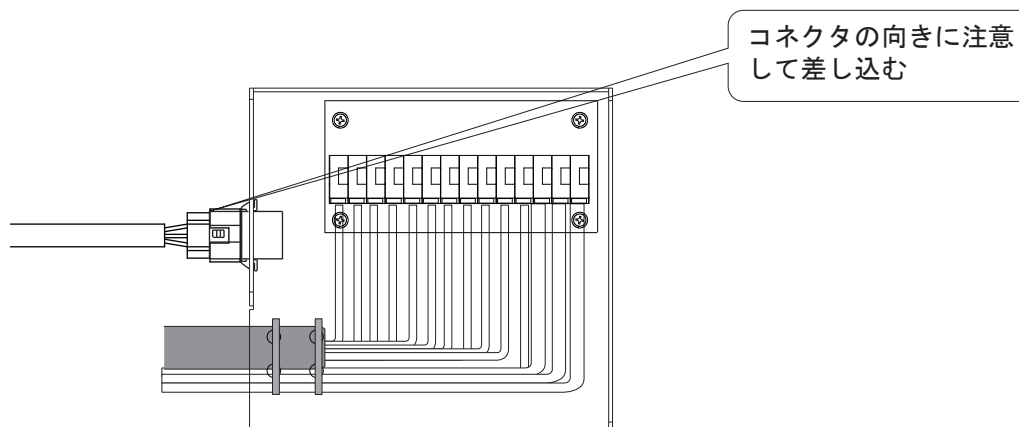
4

結束バンドで固定する



5

付属のACアダプターを接続BOXのコネクタに接続する



一次側テレビアンテナ線接続

- ・ テレビアンテナ、アースを一次側線と接続し、AC100V電源を浴室液晶テレビに供給します。

1

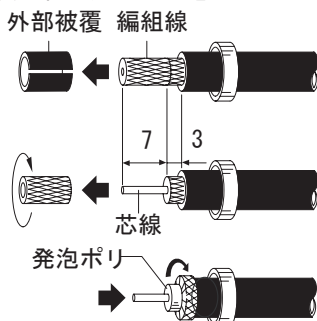
中継ケーブルB(同軸ケーブル)の端末処理

- ・ 中継ケーブルB(同軸ケーブル)の端末に、付属の接栓及び中継接栓を取り付けします。

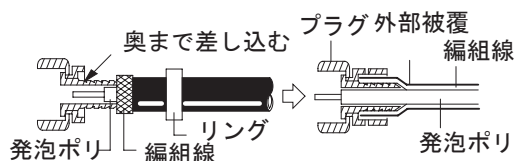
① リングを同軸ケーブルに入れ、カッターで点線の外周とタテに切り込みを入れる。



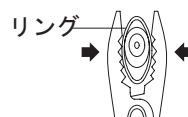
② 外部被覆を取り除き、編組線と発泡ポリに切込みを入れる。編組線と発泡ポリを回しながら抜き取る。



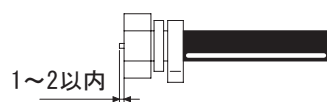
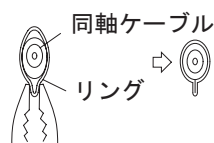
③ 編組線を折り返し、発泡ポリとの間にプラグを奥まで差し込む。



④ ペンチ等でリングの中央部を軽くつぶす。



⑤ 最後に一方をつぶす。



⑥ 中継接栓を回しながら差し込む。



※締め付けはスパナなどでしっかり固定して下さい。

2

中継ケーブルB(同軸ケーブル)とアンテナ線一次側を接続する

アンテナ線一次側



中継ケーブルB
浴室液晶テレビ側

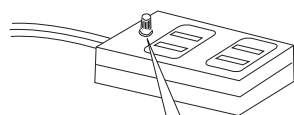
※締め付けはスパナなどで
しっかり固定して下さい。

アース接続/AC100V供給

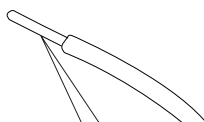
1

中継ケーブルC(アース)の接続

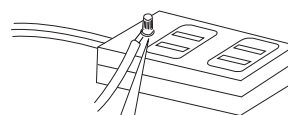
- ・ 中継ケーブルCの端末を、アースターミナルに接続します。
- ・ アースターミナルへの接続は、製品により異なります。詳しくは製品の説明書をご確認下さい。
- ・ アースターミナルがない場合は、アース一次側と圧着して下さい。



①アース固定ビスを緩める



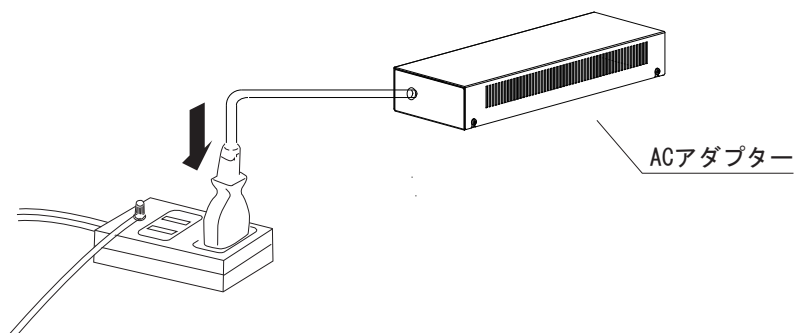
②システムケーブルC(アース)の端末の被覆を約20mmむく



③ケーブルを巻きつけて締め込む

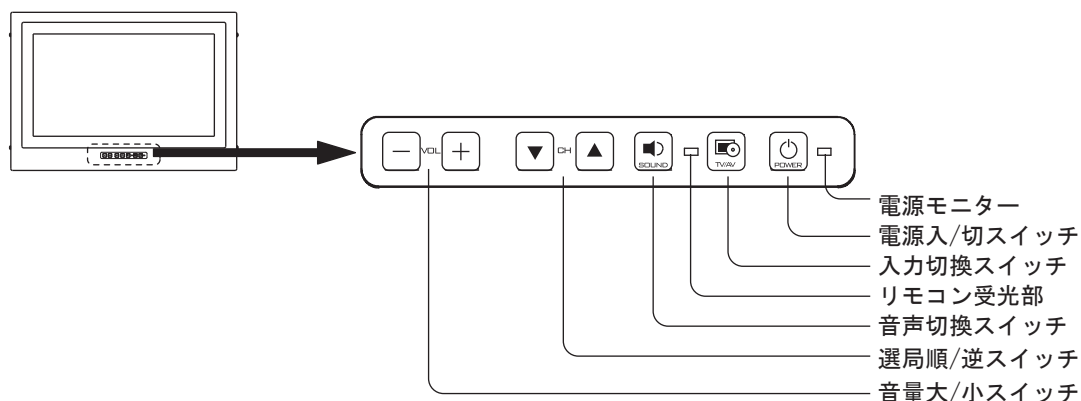
2

電源ユニットに接続されたACアダプターを、コンセントに接続する



一次通電テスト

- 浴室液晶テレビの本体設置・配線接続が終了したら、一次通電テストを行います。



1

 スイッチを押し、テレビが起動するか確認する

- ・ スイッチを押すと「ピー」と音が鳴ります。
- ・ 最初の起動では、デジタル放送のデータの処理を内部回路で行っている為、起動に多少時間がかかる場合があります。

2

テレビが起動した時、電源モニターランプが点灯しているか確認する

3

  スイッチでチャンネルが切り換わるか確認する

- ・ テレビ側のチャンネル設定を行っていない為、画面上に「このチャンネルは受信できません」等のメッセージが表示される事があります。

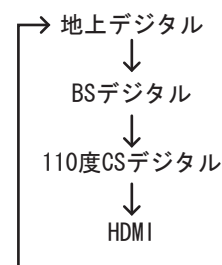
4

  スイッチで音量が切り換わるか確認する

5

 スイッチで入力切替が出来るか確認する

- ・ 押すたびに以下のように切り換わります。



6

設定用リモコンをテレビ本体のリモコン受光部に向けて  スイッチを押し、メニュー画面等が表示されるか確認する

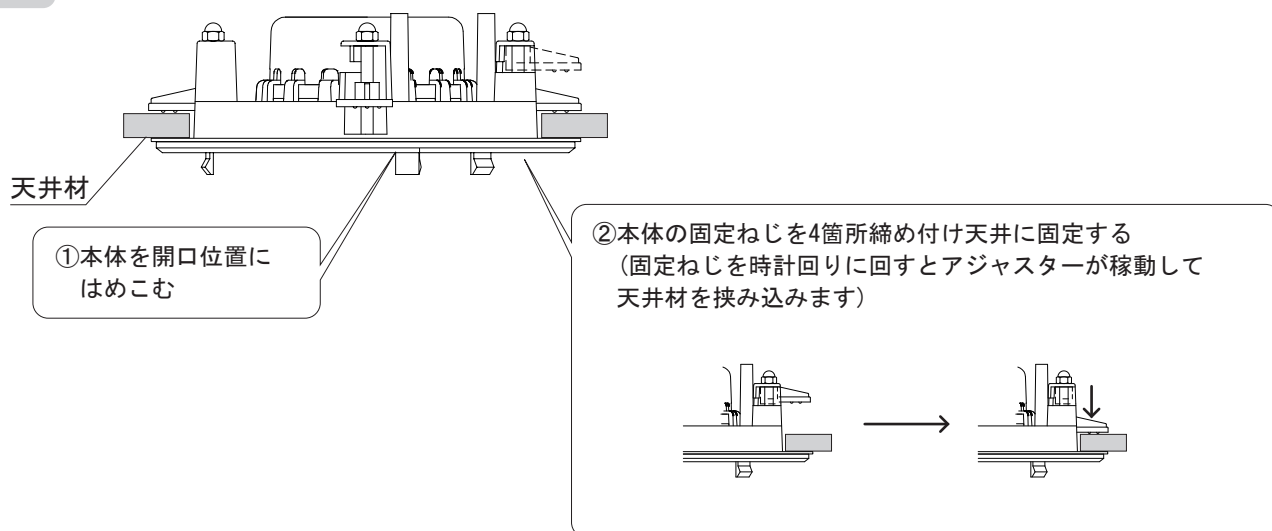
- ・ 下記のようなトラブルが発生した場合、確認欄を参考に確認作業を行って下さい。

項 目	確 認 欄
電源が入らない	・ 接続BOXにAC100Vが供給されていますか？ ・ 接続BOX内の各ケーブルは外れていませんか？ ・ 各ケーブルの端子番号はあっていますか？ ・ 各ケーブルを通線中に傷つけていませんか？
映像が映らない	・ テレビアンテナ線は接続されていますか？ ・ アンテナの一次側から映像は送られていますか？
映像が乱れる	・ テレビアンテナ線のジョイント部は確実にされていますか？ ・ アンテナの一次側のレベルは規定値に達していますか？
音が出ない 音が低い	・ スピーカーの配線接続はされていますか？ ・ スピーカーの極性は正しいですか？ ・ ローインピーダンススピーカーを使用していますか？ ・ 防水スピーカーを使用していますか？

スピーカーの取付

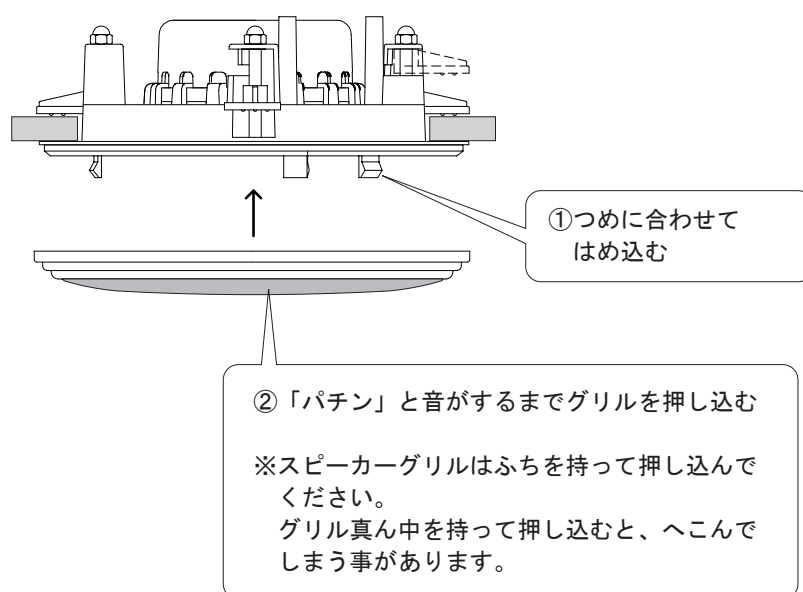
- ・ 天井の材質、補強材の位置などを調べたうえでスピーカー用の開口を行って下さい。
- ・ 以下の手順は、オプションの防水スピーカー[OE-180WR II]をもとに記載しています。異なるスピーカーを使用する場合は、製品の説明書をご確認下さい。

1 スピーカーを固定する



2 スピーカーグリルを本体にはめ込む

- ・ スピーカー本体とグリルは、3箇所あるつめを合わせてはめ込みます。

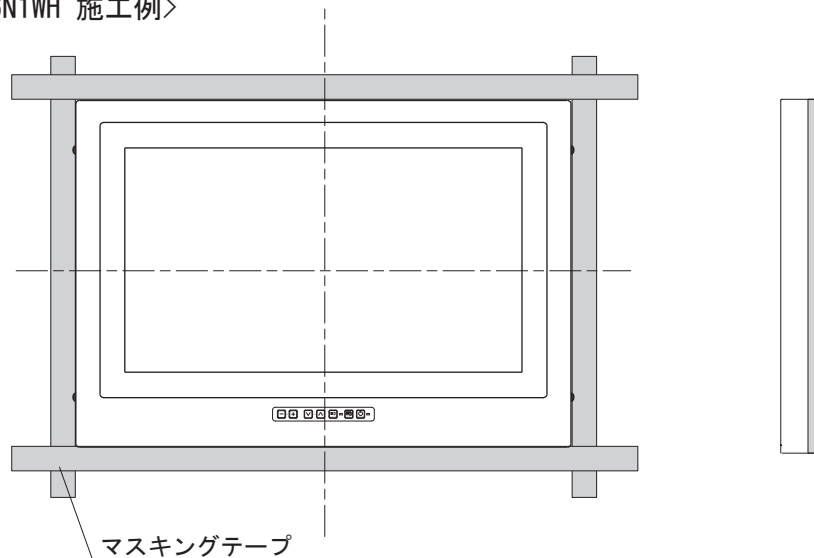


本体止水処理

- 一次通電テストが正常に終了したら、浴室液晶テレビ本体の止水処理を行います。

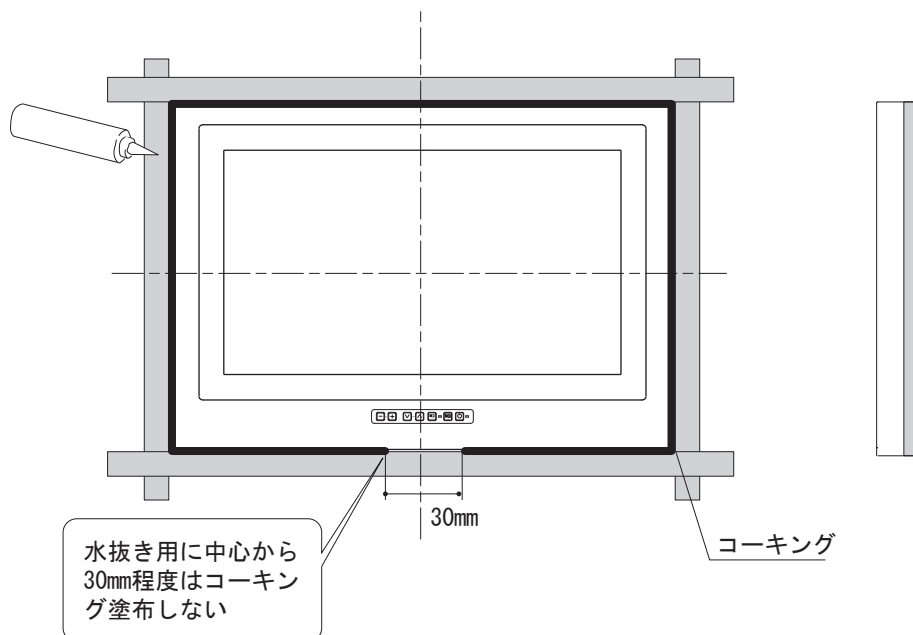
1 本体外周にマスキングテープを貼付する

〈SBT-26N1WH 施工例〉



2 本体外周にコーキングを切れ目無く塗布する (下部中央部は水抜き用に約30mm開放して下さい)

〈SBT-26N1WH 施工例〉



- ・ コーキング材は、防カビタイプをご使用下さい。
- ・ コーキング材の色は、壁面の色に合わせてご用意下さい。特に指定がない場合は、シルバーやグレー色をご使用下さい。
- ・ コーキング材の乾燥時間は、気温や湿度などの条件により異なります。詳しくは、使用するコーキング材の説明書をご確認下さい。

※ 本体外周へのコーキングは適時で、ご使用ください。

外部機器の接続

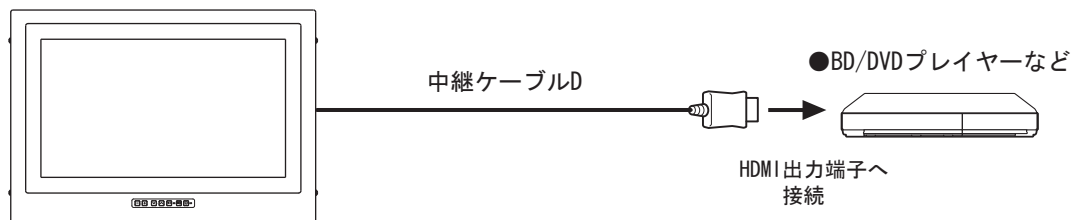
■本製品の中継ケーブルDを外部機器と接続することができます。

BD/DVDプレイヤー等の外部機器を接続して視聴が可能です。

- ・ 本製品は、外部入力を1系統、搭載しています。接続できる機器としては、HDMI出力端子搭載の機器と接続してください。

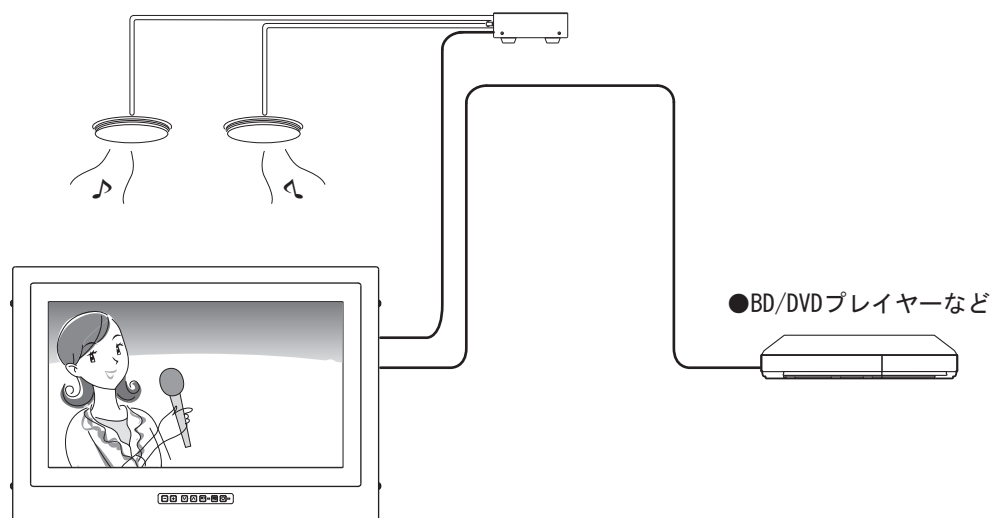
※外部機器は同梱しておりません。

■入力1に、接続できる外部機器 (HDMI出力端子搭載機器)



外部機器の視聴の仕方

- ・ BD/DVDプレイヤー等にディスクなどを入れて再生してください。
- ・ 本体操作部シート of TV/AV (入力切替) ボタン又は、リモコンの入力切替ボタンを押して、浴室液晶テレビを入力1の画面にしてください。
- ・ 画面に再生画面が映り、音声は浴室液晶テレビのスピーカーから鳴りますので好みの音量に調整してお楽しみください。



おもな仕様

型式		SBT-26N1WH	SBT-32N1WH
液晶パネル	画面サイズ	26V型 (横576mm×縦324mm) アスペクト比16 : 9	32V型 (横698mm×縦392mm) アスペクト比16 : 9
	駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス駆動方式	
	画素数	1,366 (水平) × 768 (垂直) 画素	
	使用光源	LED	
アンテナ入力		VHF/UHF 75Ω 不平衡型、BS-1F 75Ω 不平衡型 (C15型)、地上デジタル75Ω 不平衡型	
音声出力		総合10W (5W×2)	
定格電圧		AC100V、DC12V/DC48V (付属ACアダプター使用)	
定格周波数		50/60Hz	
消費電力		約68W	
接続端子		外部1 : HDMI入力 LAN端子 : 10BASE-T/100BASE-TX※特注カスタム仕様	
本体システムケーブル		専用ケーブル1本、アンテナ同軸ケーブル1本、アースケーブル1本	
受信チャンネル		地上デジタル (ワンセグを除く) 011~528ch (CATVバススルー対応) BSデジタル001~999ch 110度CSデジタル000~999CH	
BS/110度CS チャンネル受信仕様	変調	時分割多重PSK	
	トランスポート	MPEG2システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	AR1B CASシステム	
	受信周波数帯域	11.71GHz~12.75GHz	
地上デジタル チャンネル受信仕様	IRD受信周波数帯域	1032MHz~2071MHz	
	変調	直交周波数分割多重 (OFDM)	
	トランスポート	MPEG2システム	
	映像	MPEG2 (MP@HL)	
	音声	MPEG2 AAC	
	限定受信システム	AR1B CASシステム	
地上デジタル チャンネル受信仕様	受信周波数帯域	93MHz~767MHz	
	CATVバススルー対応	UHF帯、ミッドバンド (M1D) 帯、スーパーハイバンド (SHB) 帯、VHF帯	
保護ガラス		t=4mm 強化ガラス	
本体材質		t=2mm ステンレス	
表面仕上	ヘアライン仕上げ	横目ヘアライン仕上	
操作パネル		防水シート/エンボス加工 POWER、TV/AV、SOUND、CH+/ー、VOL+/ー、リモコン受光部、電源モニター	
外形寸法	露出シリーズ SBT-26N1WH	720 (W) × 504 (H) × 78 (D) 19Kg	840 (W) × 580 (H) × 78 (D) 21Kg
重量 (本体/壁面ステー含む)	埋込シリーズ SBT-26N1WH-in	720 (W) × 504 (H) × 25 (D) ※壁面埋込部有り 22Kg	840 (W) × 580 (H) × 25 (D) ※壁面埋込部有り 26Kg
防水ランク		IP66 (耐水型/防塵型) 相当	
パッケージ内容		浴室液晶テレビ本体、取付ステー、本体取付ビス/ワッシャ、取付ステー固定用ビス/カールプラグ、接続端子BOX、ACアダプター 防水スピーカー2個 (OE-180WR II)、スピーカーケーブル2本、設定用リモコン (非防水)/電池、中継ケーブルA/B/C/D、HDMI中継 同軸用接線、接線中継、パテ、エフコテープ (2号)、結束バンド、マウントベース、取扱説明書、設置・施工説明書、保証書	

■接続端子BOX/ACアダプター

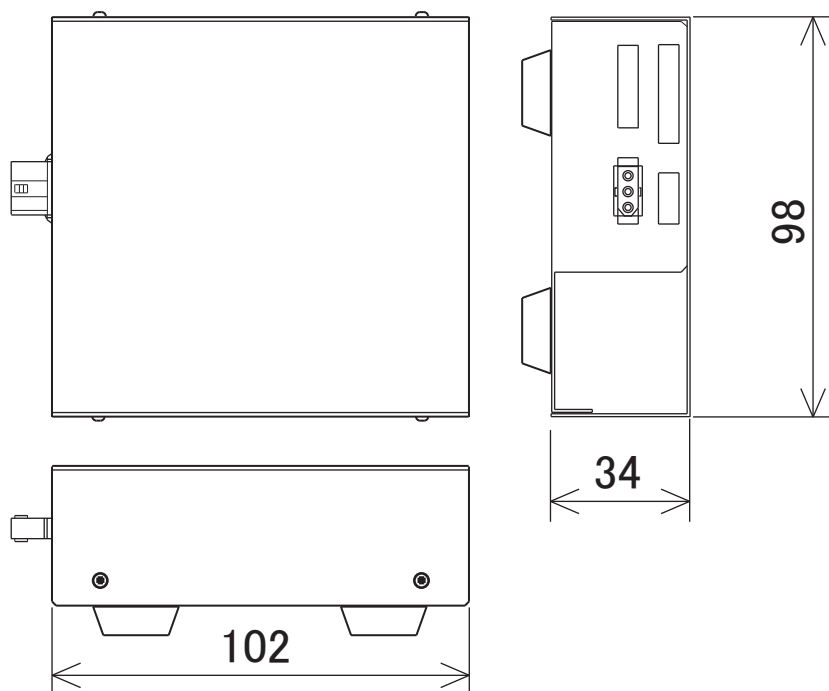
接続端子BOX外形寸法 重量	102 (W) × 34 (H) × 98 (D) 約350g
接続端子	専用ケーブル、スピーカーケーブル
ACアダプター外形寸法 重量	192 (W) × 41 (H) × 118 (D) 約1000g
電源入力・出力	入力AC100V 50Hz/60Hz 出力DC12V/DC48V

■防水スピーカー [OE-180WR II]

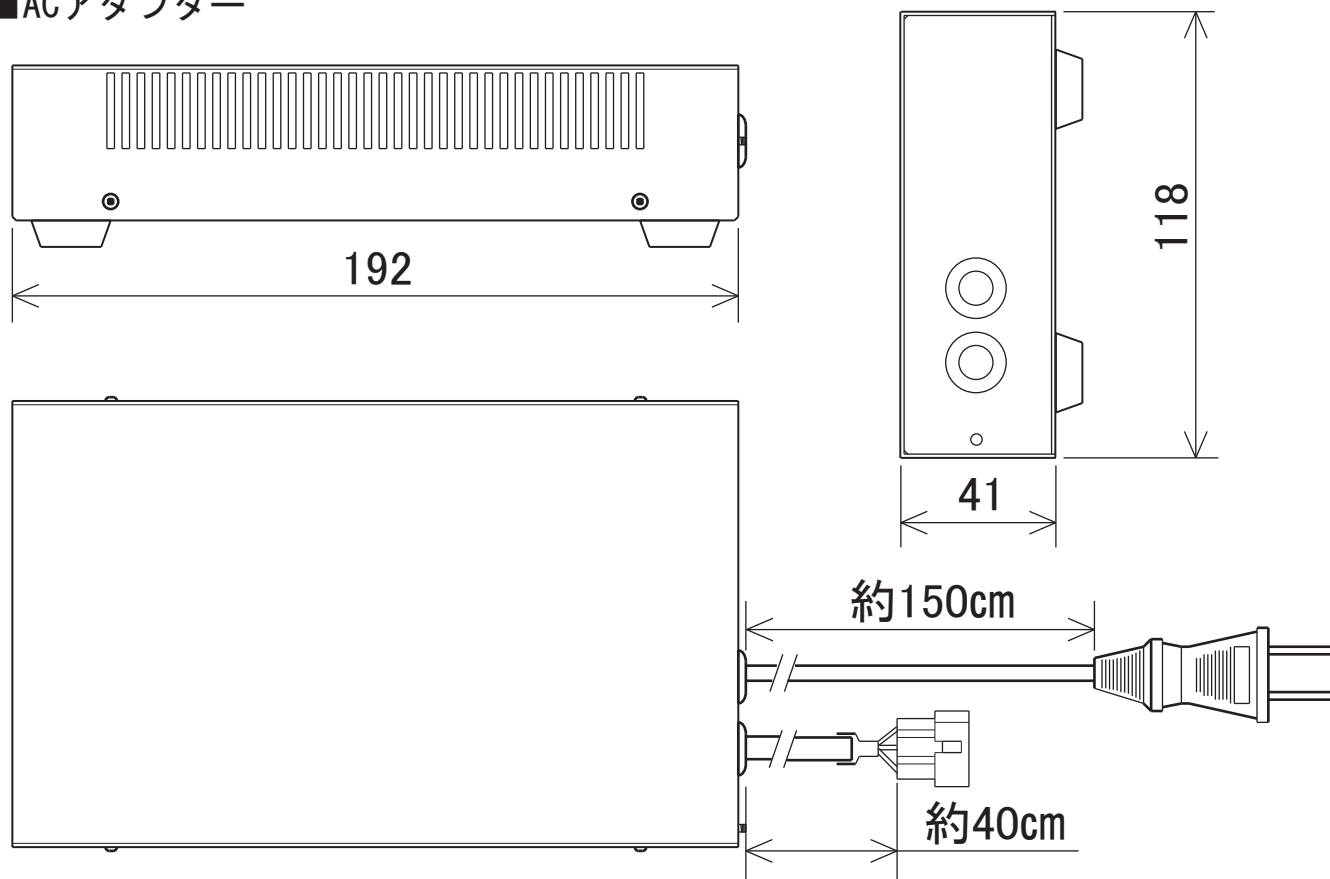
本体 寸法	Φ173 × 55 (D)
パネル	Φ180 × 18 (D)
重量	740g
インピーダンス	インピーダンス 6Ω (10W : ローインピーダンス)
	入力AC100V 50Hz/60Hz 出力DC12V/DC48V

接続BOX/ACアダプター寸法図(共通部品)

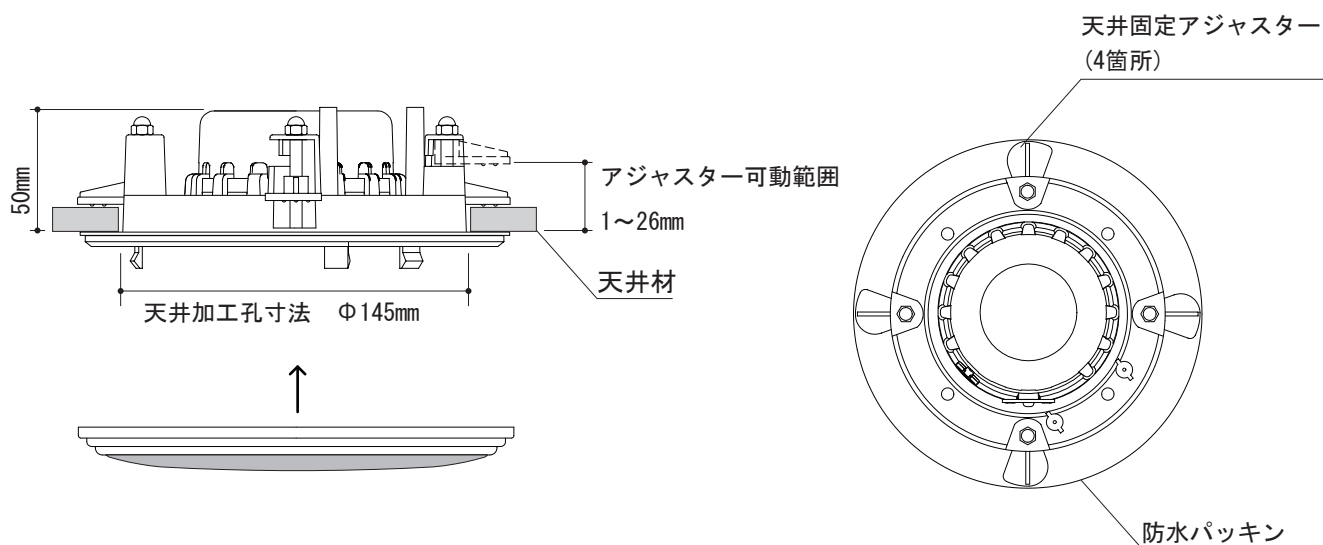
■接続BOX



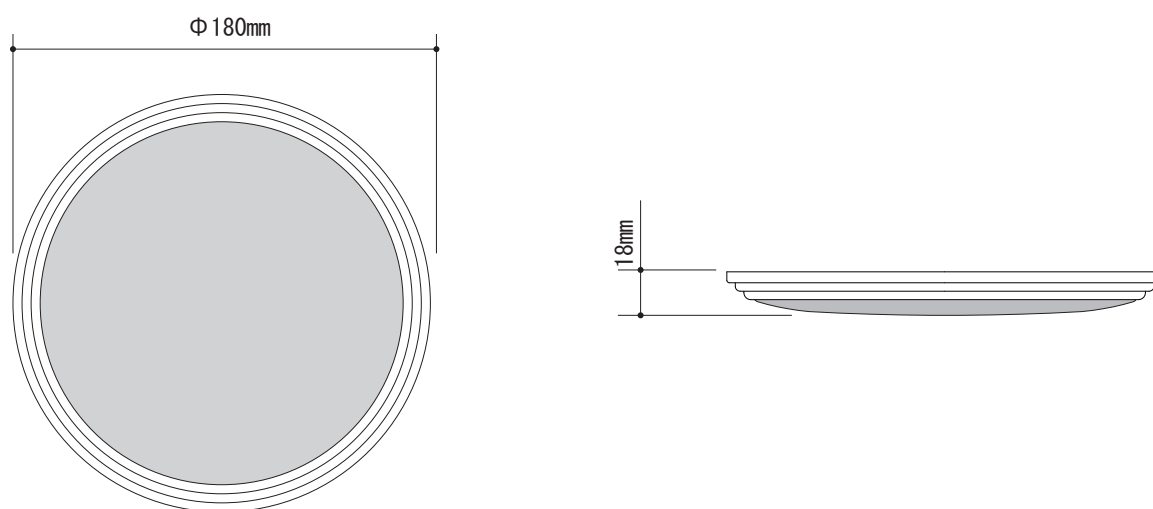
■ACアダプター



防水スピーカー寸法図

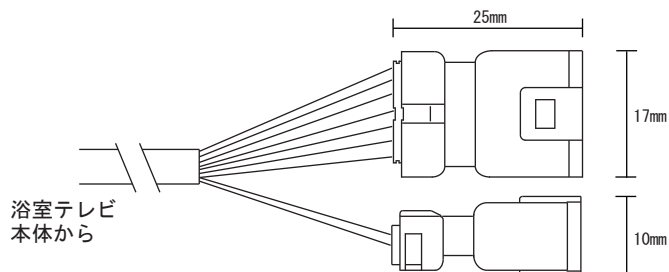


スピーカーグリル

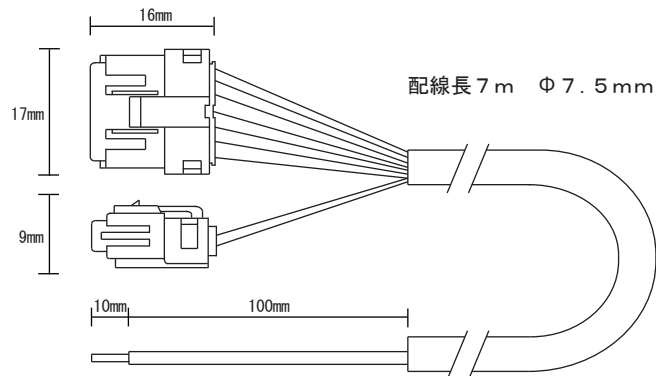


各ケーブル/コネクタ寸法図(共通部品)

浴室テレビ本体より中継ケーブルAと接続する
オスピンコネクタ×2
配線色〔茶・赤・橙・黄・白〕コネクタ1
配線色〔緑・青・水・灰・黒〕コネクタ2



中継ケーブルA 本体接続側メスピコネクタ×2
10芯グレーケーブル
配線色〔茶・赤・橙・黄・白〕コネクタ1
配線色〔緑・青・水・灰・黒〕コネクタ2

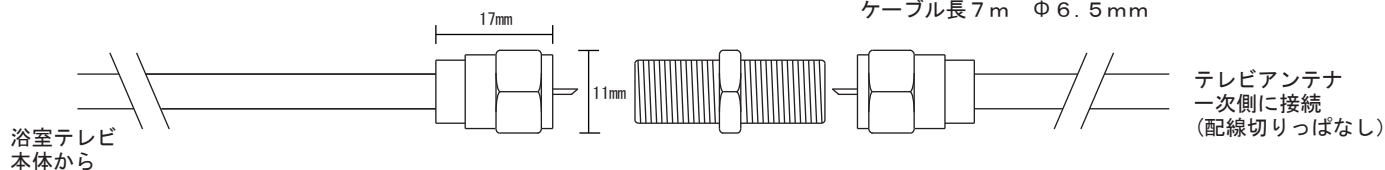


中継ケーブルA 接続BOX接続側
10芯グレーケーブル
配線色〔茶・赤・橙・黄・白・緑・青・水・灰・黒〕
10芯全て、先端半田処理

本体より中継ケーブルBと接続する
同軸ケーブル S-4C-FB

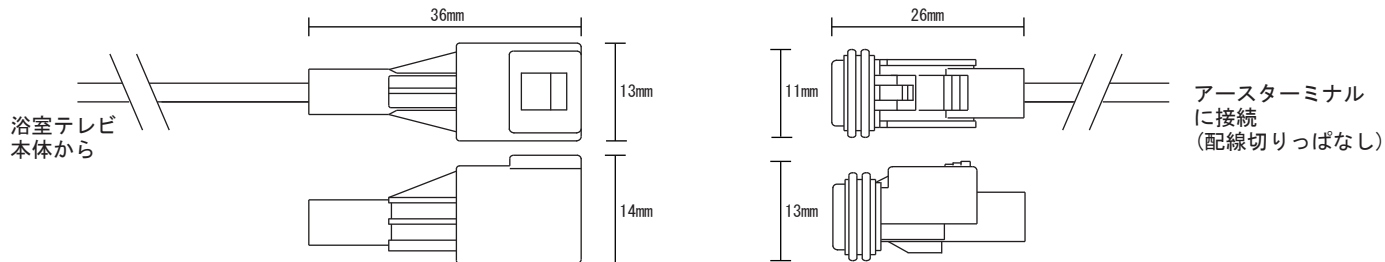
中間接栓

中継ケーブルB
同軸ケーブル S-4C-FB
ケーブル長7m Φ6.5mm



本体より中継ケーブルCと接続する
オスピンコネクタ×1

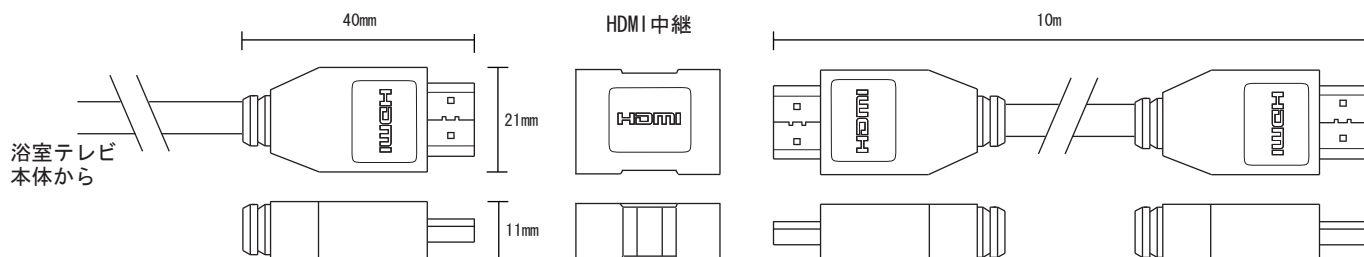
中継ケーブルC
KIV0.75mm ケーブル長9m Φ2.5mm



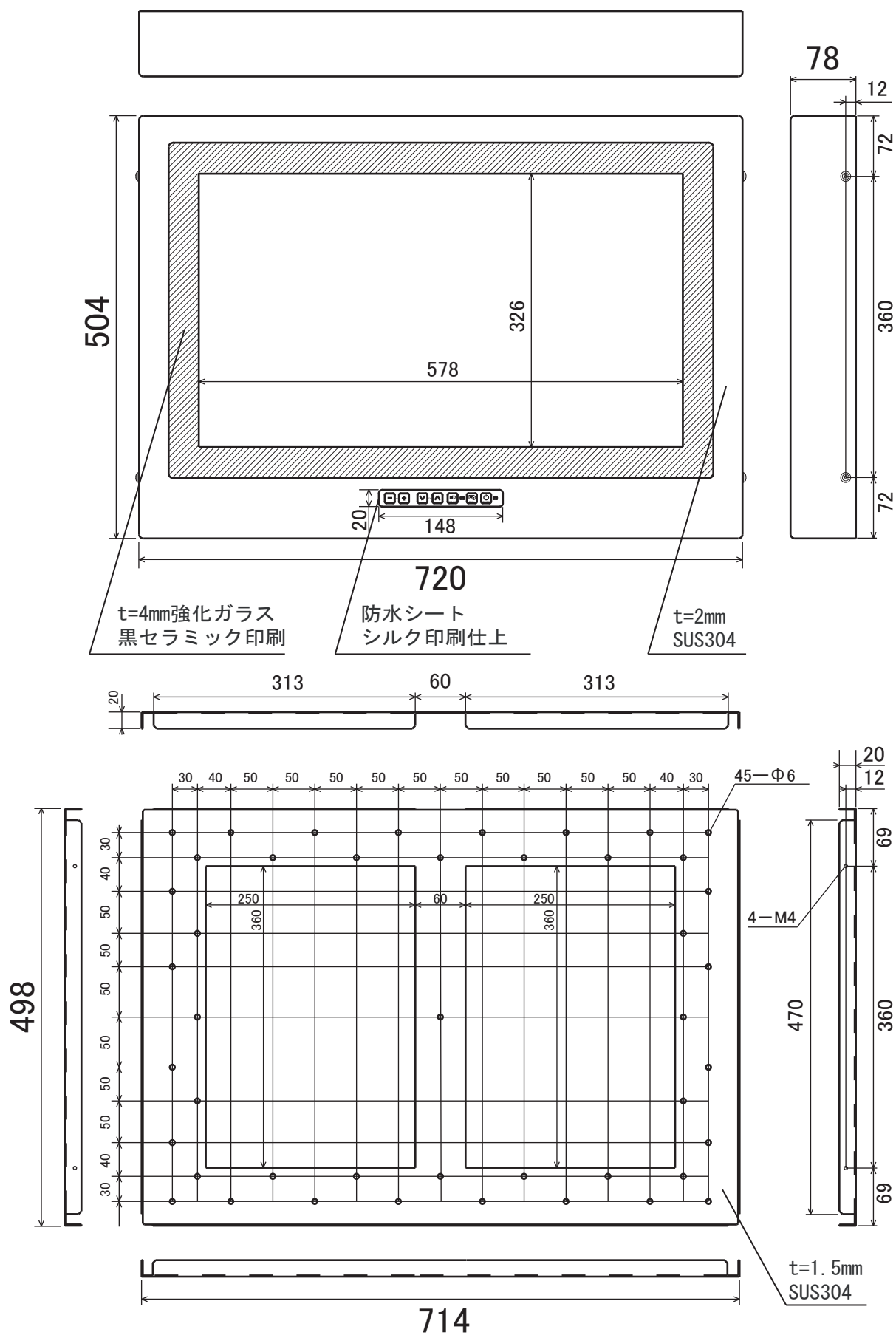
本体より中継ケーブルDと接続する
HDMIコネクタ×1

中継ケーブルD
HDMIケーブル
ケーブル長10m

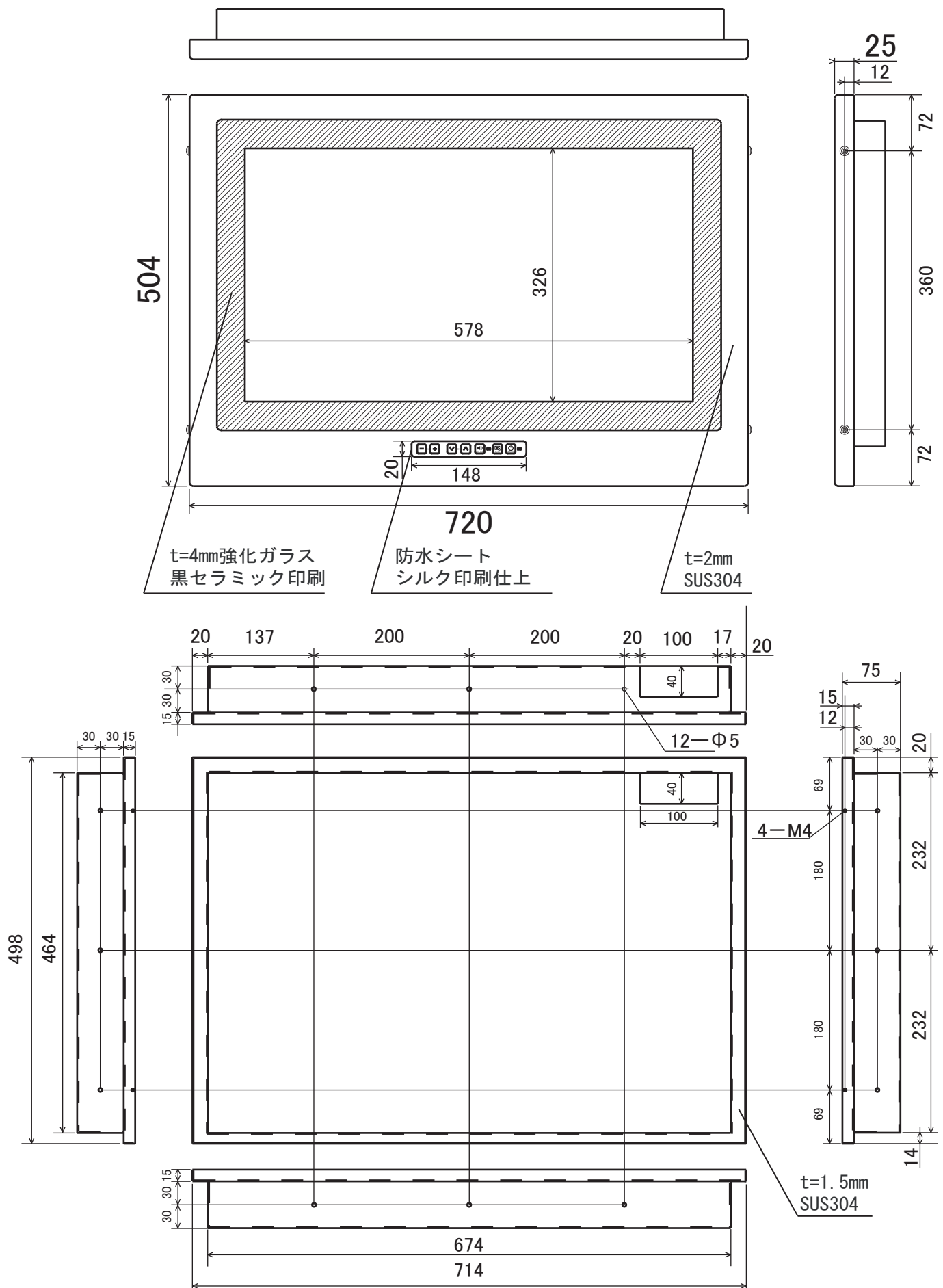
※コネクタ外形が大きい為
通線時注意が必要です。
切断不可。



壁掛タイプ (SBT-26N1WH) ・ 壁掛ステー/寸法図

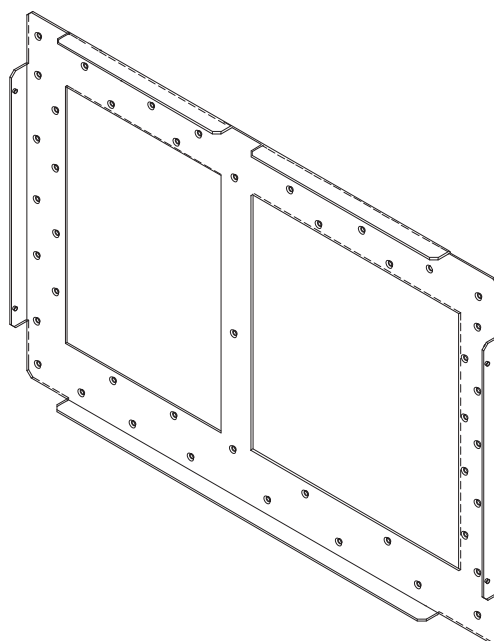
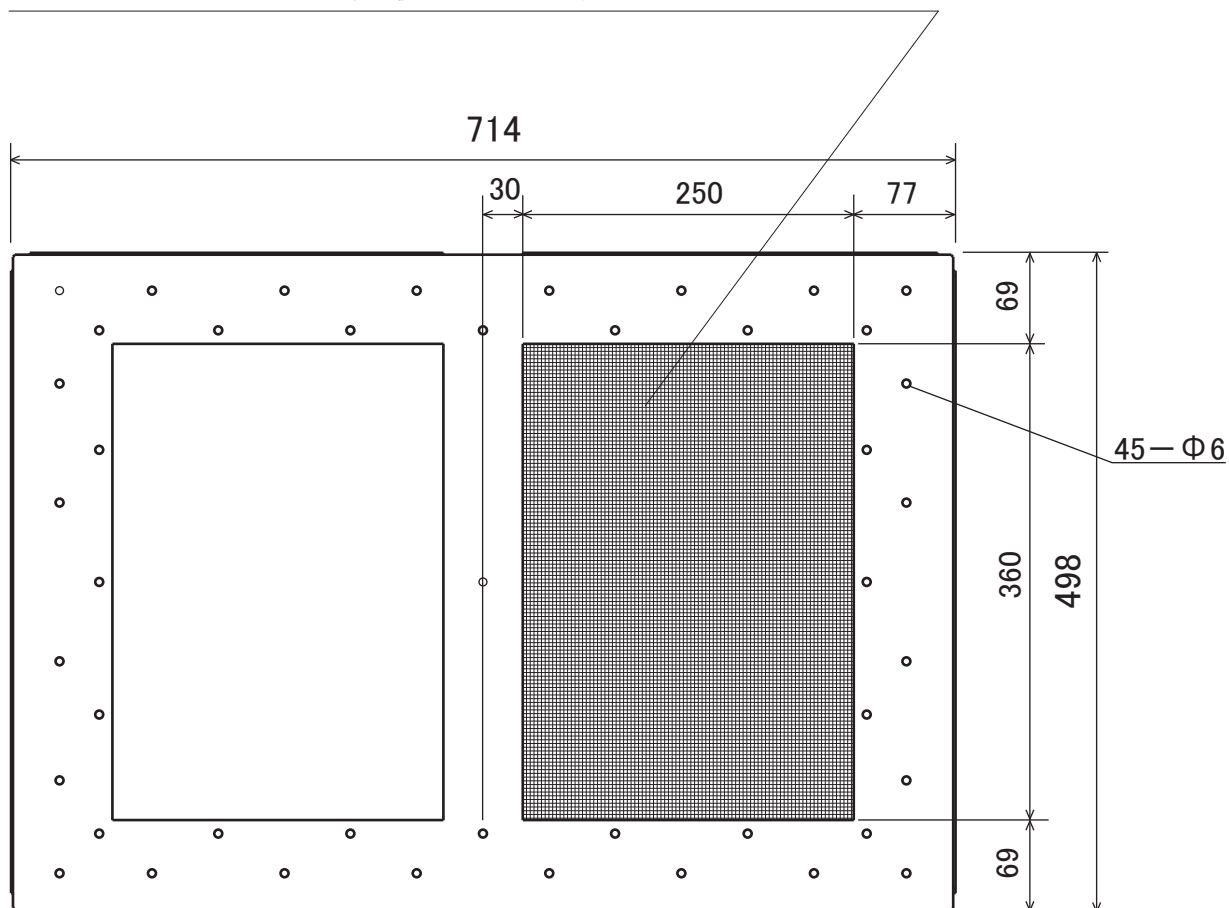


埋込タイプ (SBT-26N1WH-in) ・ 埋込ステー/寸法図



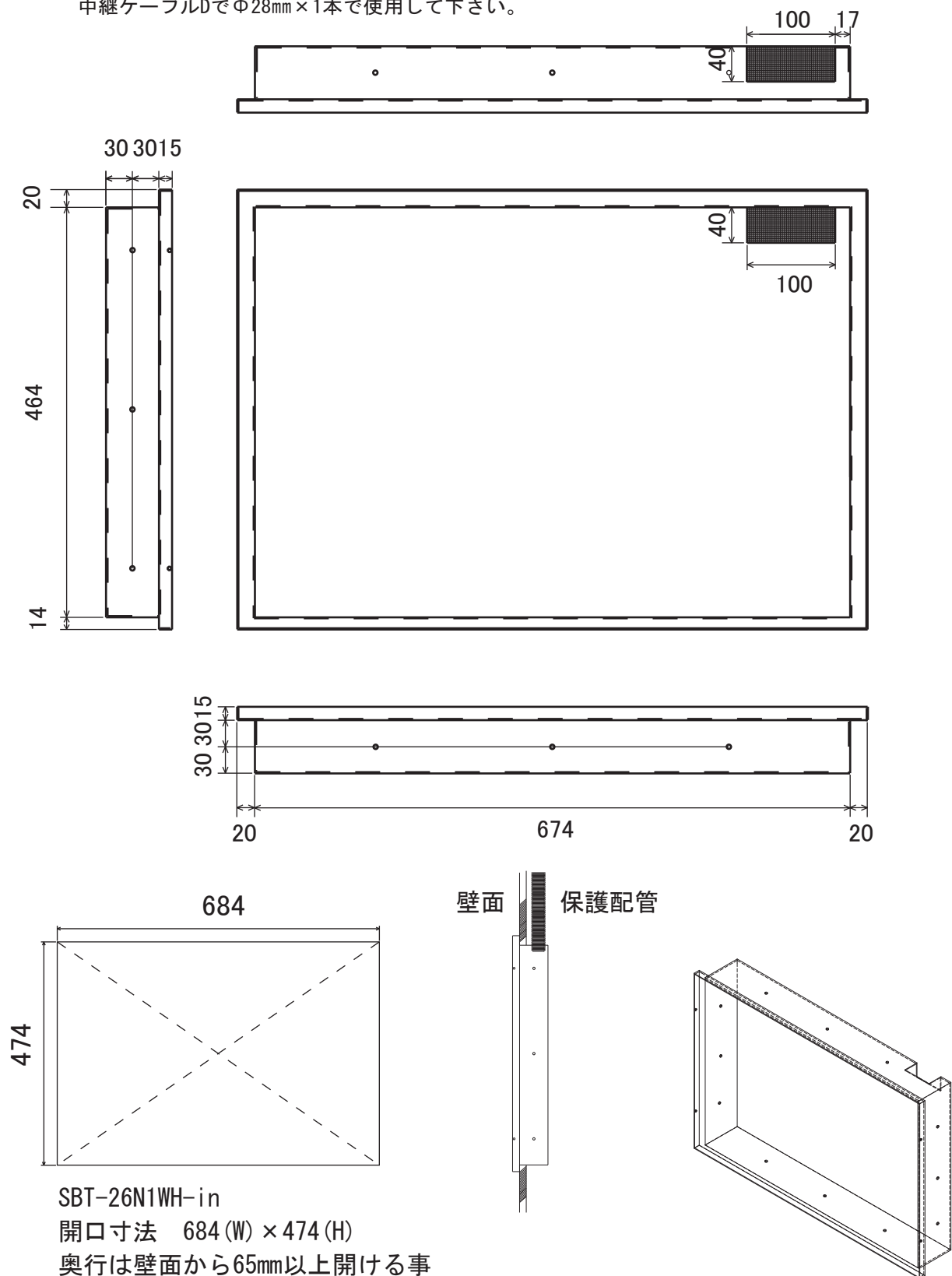
壁掛ステ一開口指示図 (SBT-26N1WH)

- ・斜線部分範囲内にシステムケーブル通線開口処理を行って下さい。
- ・通線後に止水処理を行う為、必要以上に大きな穴を開けない様にして下さい。
- ・保護配管を埋設する場合は
中継ケーブルA・B・CでΦ28mm×1本
中継ケーブルDでΦ28mm×1本で使用して下さい。

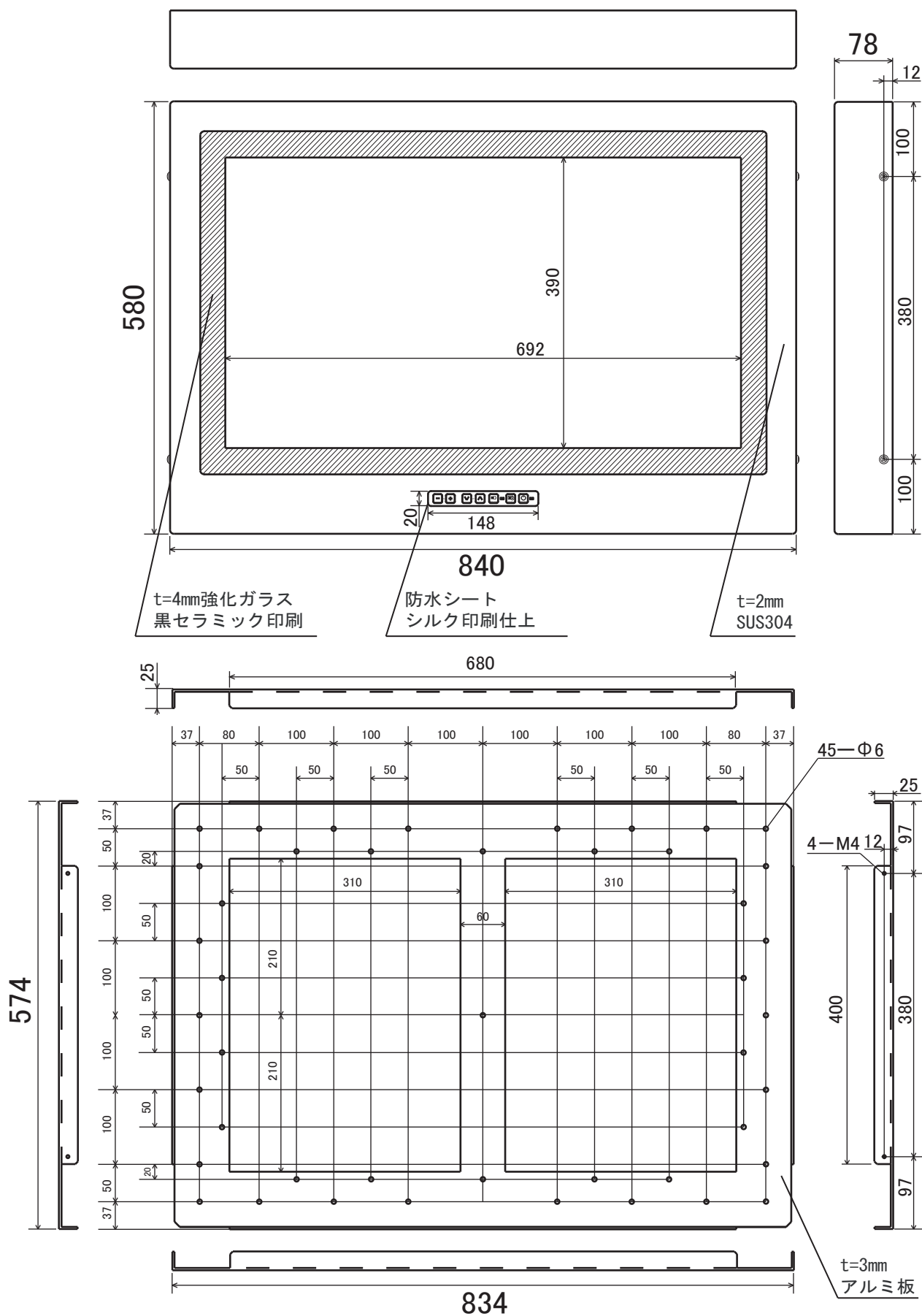


埋込ステー開口指示図 (SBT-26N1WH-in)

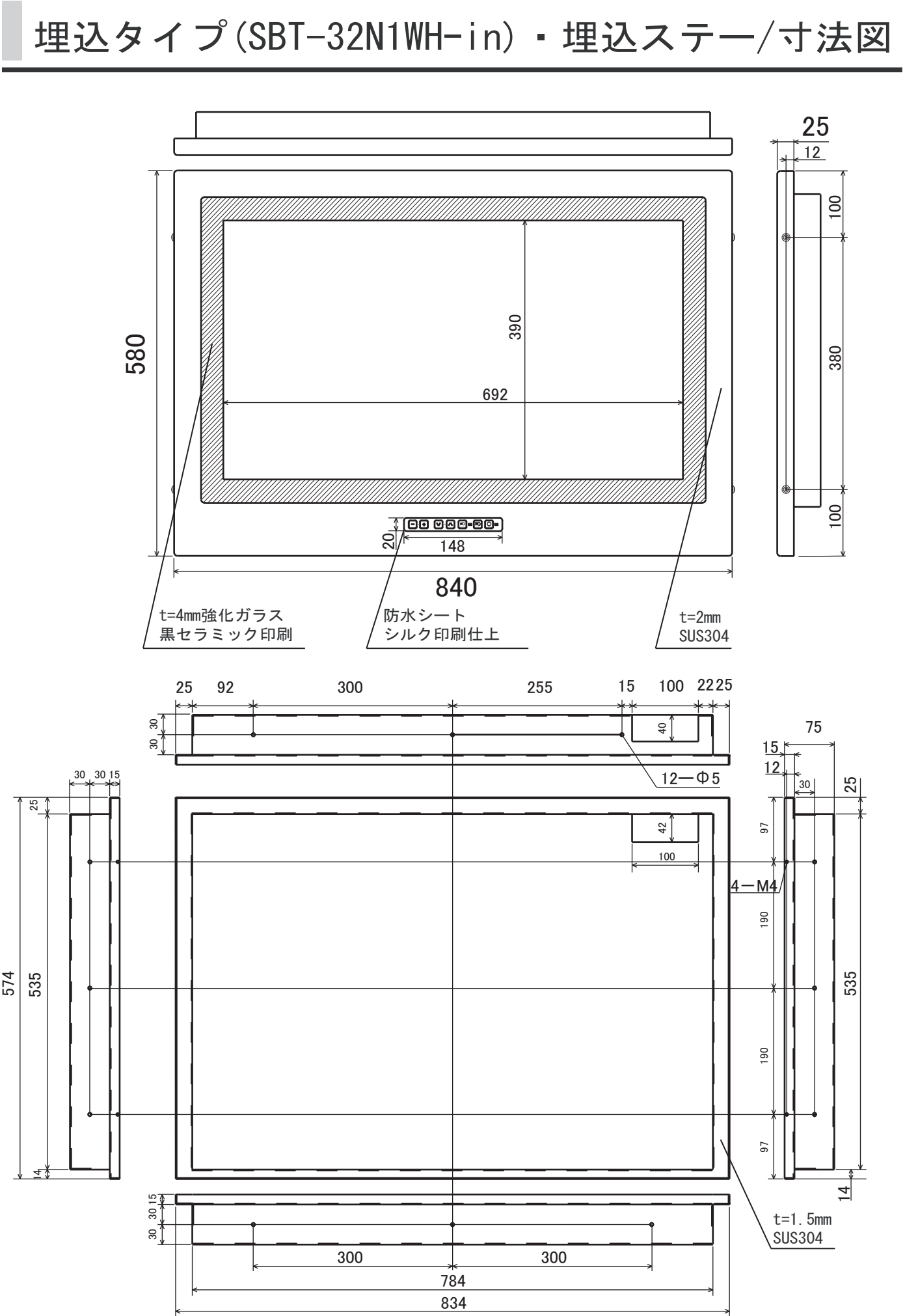
- ・斜線部分範囲内にシステムケーブル通線開口処理を行って下さい。
- ・埋込枠を固定できるように開口部内、外周に補強材等使用して下さい。
- ・保護配管を埋設する場合は
中継ケーブルA・B・CでΦ28mm×1本
中継ケーブルDでΦ28mm×1本で使用して下さい。



壁掛タイプ (SBT-32N1WH) ・ 壁掛ステー/寸法図

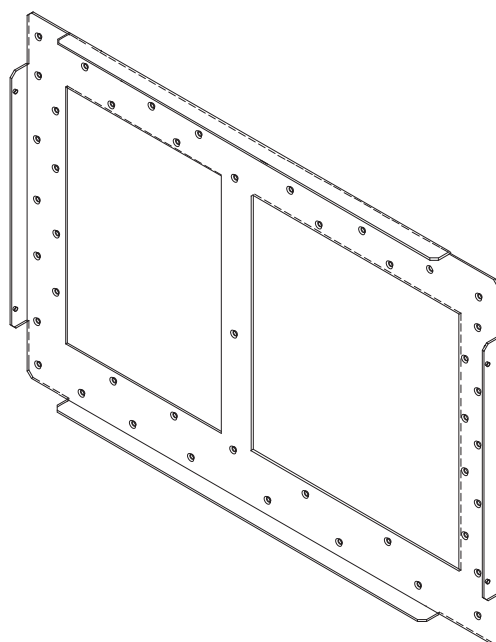
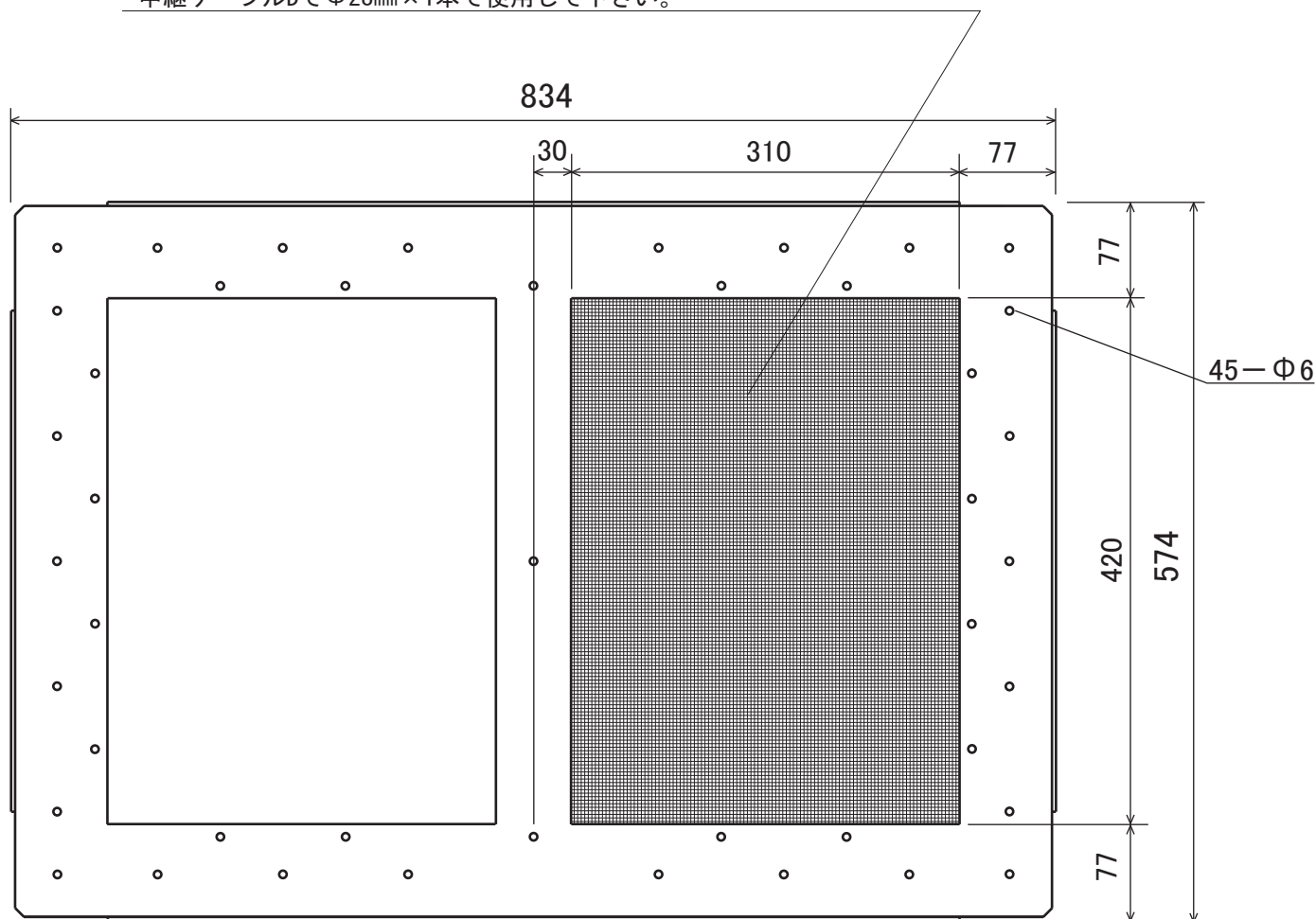


埋込タイプ (SBT-32N1WH-in) ・ 埋込ステー/寸法図



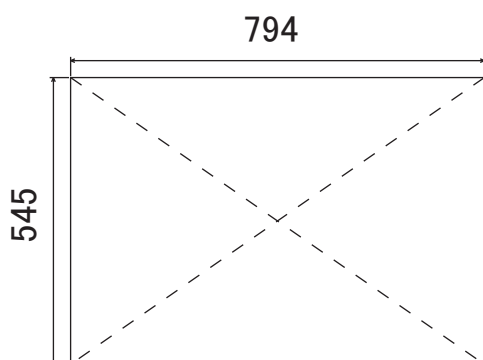
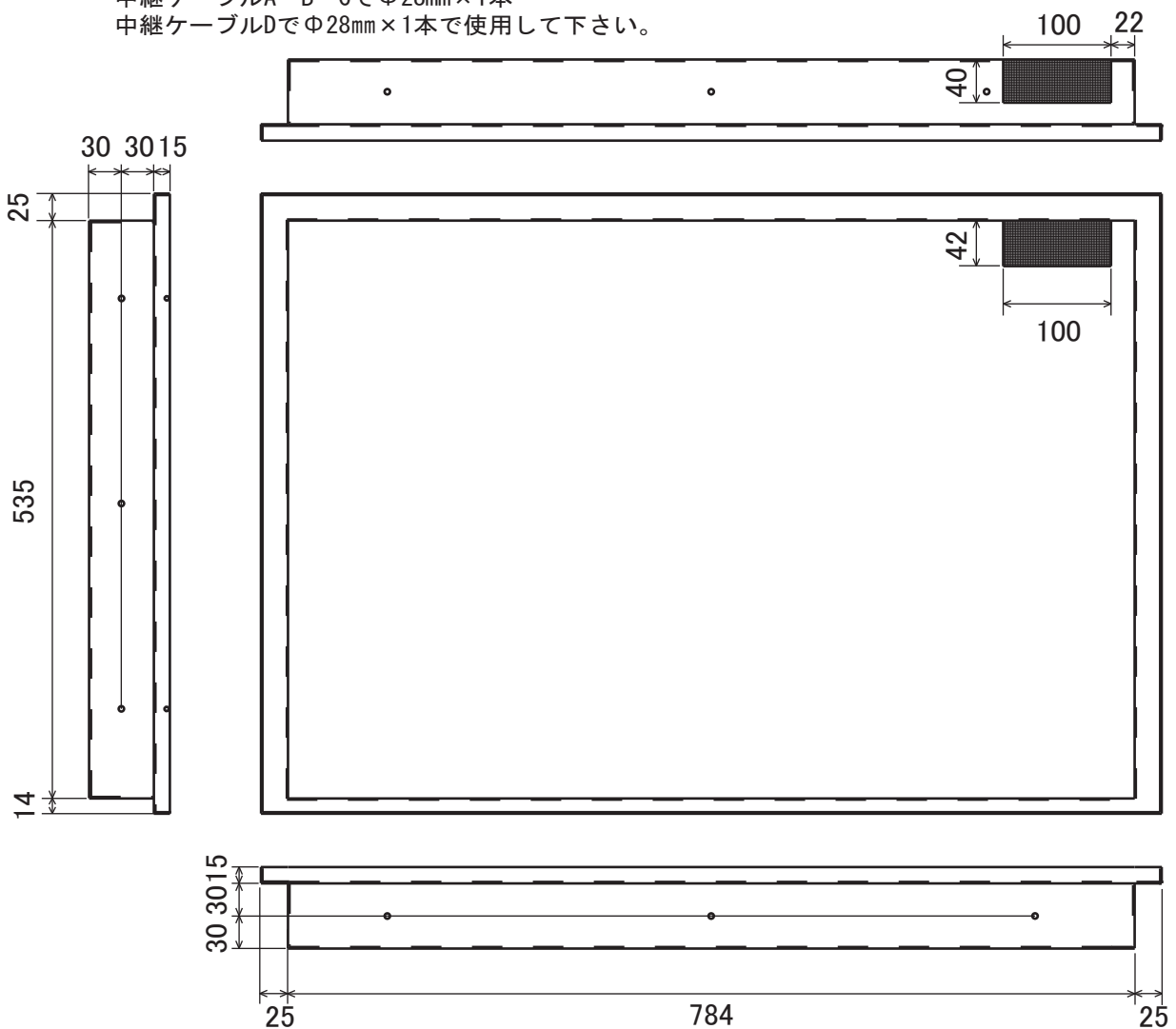
壁掛ステー開口指示図 (SBT-32N1WH)

- ・ 斜線部分範囲内にシステムケーブル通線開口処理を行って下さい。
- ・ 通線後に止水処理を行う為、必要以上に大きな穴を開けない様にして下さい。
- ・ 保護配管を埋設する場合は
中継ケーブルA・B・CでΦ28mm×1本
中継ケーブルDでΦ28mm×1本で使用して下さい。



埋込ステー開口指示図 (SBT-32N1WH-in)

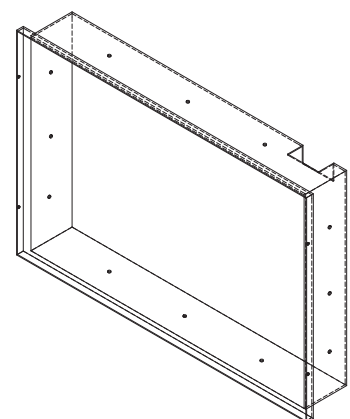
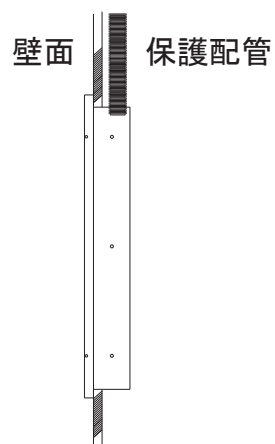
- ・斜線部分範囲内にシステムケーブル通線開口処理を行って下さい。
- ・埋込枠を固定できるように開口部内、外周に補強材等使用して下さい。
- ・保護配管を埋設する場合は
中継ケーブルA・B・CでΦ28mm×1本
中継ケーブルDでΦ28mm×1本で使用して下さい。



SBT-32N1WH-in

開口寸法 794 (W) × 545 (H)

奥行は壁面から65mm以上開ける事



改訂履歴

[illegible]

Sun-Abe

サンエーブ技研工業株式会社

本 社：〒190-0023東京都立川市柴崎町2-13-22

TEL. 042-522-0310(代) FAX. 042-523-0538

<http://www.sun-abe.co.jp>